SONY

3-063-883-**02** (1)

デジタルビデオカメラレコーダー

Mini DV Digital Video Cassette

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Digital Handycam

DCR-TRV8K

目次

必ずお読みください

お使いになる前に

CM カセットメモリー付きのミニDVカセットをおすすめします

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。ミニDVカセットでのみご使用になれます。本機ではカセットメモリー付きのミニDVカセットを推奨しています。

カセットメモリーの有無により操作方法の違う機能

エンドサーチ（17、20ページ）
「撮影日で頭出しする－日付サーチ」（39ページ）
フォトサーチ（43ページ）

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能

「タイトル場面を頭出しする－タイトルサーチ」（41ページ）
「タイトルを入れる」（55ページ）
「オリジナルタイトルを作る」（58ページ）
「カセットになまえを付けるーカセットラベル」（60ページ）
詳しくは71ページをご覧ください。

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能には、説明の前に左のマークが付いています。

カセットメモリー付きミニDVカセットにはCMマークが付いています。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶画面、ファインダーおよびレンズについて

液晶画面やカラーファインダーは非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがありますが、故障ではありません（99.99%またはそれ以上の割合で画面上は正常に動きます）。これらの点は、テープに記録されません。
液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

本書内の写真について

液晶画面やファインダーの映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

カール ツァイスレンズ搭載

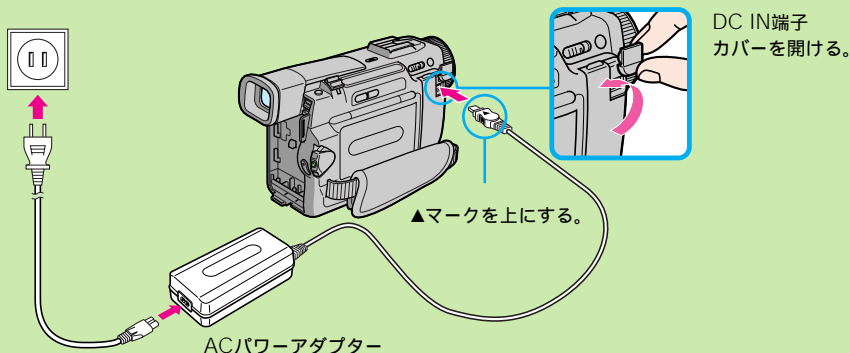
本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ　カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

* Modulation（モジュレーション） Transfer（トランスファー） Function（ファンクション）/Factor（ファクター）の略。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

とにかく撮って見る

ここでは本機の使い方を簡単に説明します。
詳しくは（　）内のページをご覧ください。

1 電源をつなぐ（9ページ）

屋外ではバッテリーを使います →6ページ

DC IN端子
カバーを開ける。

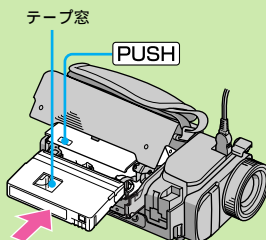
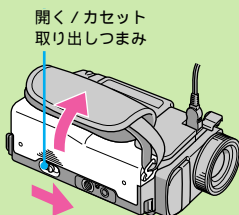
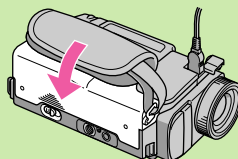
2 カセットを入れる（10ページ）

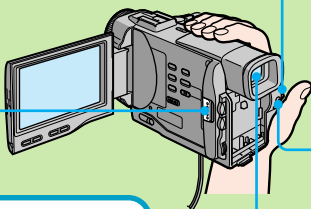
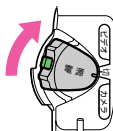
❶ **開く／カセット取り出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットぶたを開ける。**

開く／カセット
取り出しつまみ

❷ **カセットの背の中央部を押して、カセットを入れる。**

❸ **PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。**

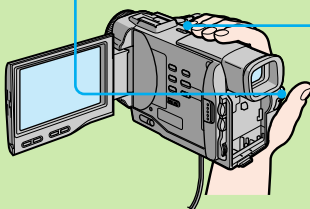
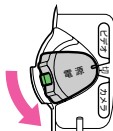
❹ **カセット入れが完全に引き込まれたら、カセットぶたを閉める。**

3 撮影する（11ページ）

❶ レンズキャップをはずす。

❷ **緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。**
液晶画面に画像が見える。

❸ **OPENボタンを▶の方向にずらし液晶画面を開ける。**

ファインダー
液晶画面を閉じているときは、この部分に目を当てて画像を見ます。

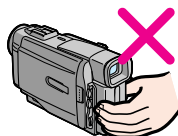
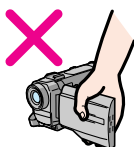
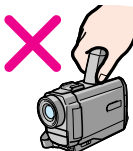
❹ **スタート／ストップボタンを押す。**
撮影が始まる。
もう1度押すと止まる。

4 液晶画面で見る（18ページ）

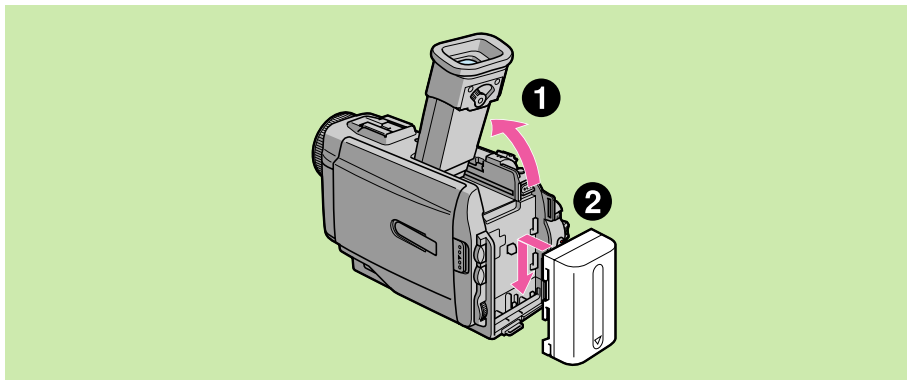
❶ **緑のボタンを押しながら「ビデオ」にする。**

❷ **◀◀を押してテープを巻き戻す。**
巻戻し

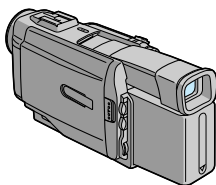
❸ **▶を押すとテープが再生される。**
再生

ご注意

ファインダーや液晶画面、バッテリーをつかんで、本機を持ち上げないでください。

準備1　電源を準備する

バッテリーを取り付ける

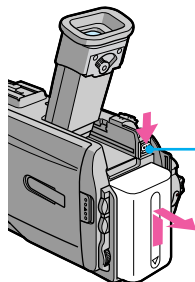
本機を屋外で使用するときは、バッテリーを取り付けます。

バッテリーを取り付けた後は
バッテリーをつかんで本機を持ち運ばないでください。

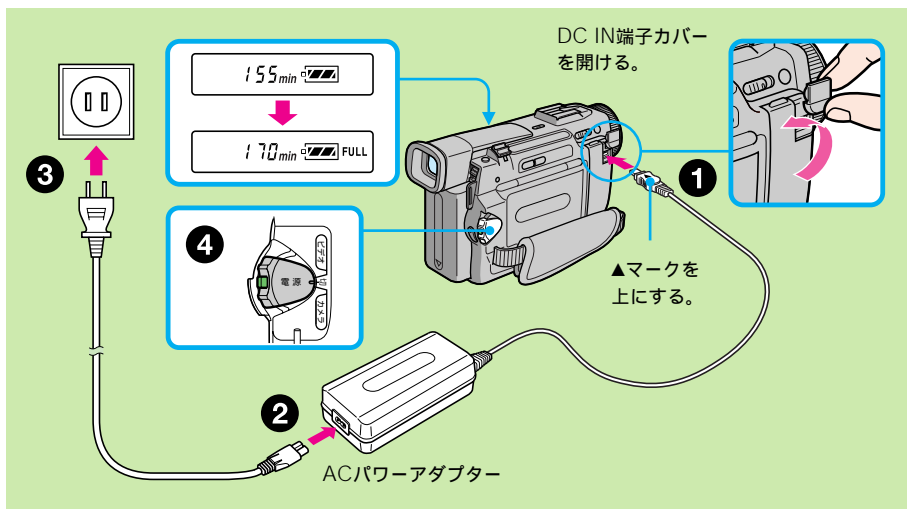
容量の大きいバッテリーを使用するときは
容量の大きいバッテリー（NP-FM70/FM90/FM91）をご使用のときはファインダーを伸ばしてご使用ください。持ち上げるときや元の位置に戻すときは指をはさまないようにご注意ください。

❶ **ファインダーを上げる。**

❷ **バッテリーを押しながら、カチッとロックするまで下へずらす。**

本体から取りはずす

1　**ファインダーを上げる。**

2　**バッテリー取りはずしボタンを押しながらバッテリーを上へずらし、取りはずす。**

バッテリーを充電する

バッテリーは充電してからお使いください。本機でバッテリーの充電ができます。
本機の電源には、“ インフォリチウム ”バッテリー（Mシリーズ）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。

ご注意

- ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- バッテリーは水にぬらさないでください。
- バッテリーを長期間使用しないときは、1年に1回程度満充電にして、本機で使い切ってから、涼しい場所で保管してください。

表示窓に表示されるバッテリー残量時間は

ファインダーを使用したときの連続撮影時間の目安です。

バッテリーは

お買い上げ時に若干充電されています。

❶ ACパワーアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。

DC IN端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを上にしてつなぐ。

❷ 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。

❸ 電源コードをコンセントにつなぐ。

❹ 電源スイッチを「切」にする。

充電が始まると、表示窓にバッテリー残量時間が表示される。

充電が終わると、バッテリー残量表示が「▬」になる**（実用充電）**。さらに約1時間、「FULL」が表示されるまで充電すると若干長く使える**（満充電）**。

バッテリーの充電が終わったら

ACパワーアダプターをDC IN端子から抜く。

バッテリー残量を計算するまでは
表示窓には「– – – – min」が表示されます。

充電中の表示窓の表示
以下の場合、正しく表示されない、または点滅することがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられていない。
- ACパワーアダプターが外れている。
- バッテリーが故障している。

海外でも充電できます
詳しくは83ページをご覧ください。

撮影中のバッテリー残量時間表示
使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

バッテリー残量の表示時間が充分なのに電源がすぐに切れるときは
満充電すると正しく表示されます。

InfoLITHIUM **（インフォリチウム）バッテリーとは**
“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持ったリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）対応です。それ以外のバッテリーはお使いになれません。“インフォリチウム”バッテリーには InfoLITHIUM M SERIES マークがついています。
InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

充電時間

バッテリー	満充電時間（実用充電時間）
NP-FM50（付属）	150（90）
NP-FM70	240（180）
NP-FM90	330（270）
NP-FM91	360 (300)

使い切ったバッテリーを充電したときの時間（約　分）。

撮影時間

バッテリー	ファインダーで撮影		液晶画面で撮影	
	連続撮影時*	実撮影時**	連続撮影時*	実撮影時**
NP-FM50（付属）	170（155）	90（80）	135（120）	70（60）
NP-FM70	355（320）	190（170）	285（255）	150（135）
NP-FM90	540（485）	290（260）	435（390）	230（210）
NP-FM91	625 (560)	335 (300)	505 (455)	270 (245)

満充電（（　）内は実用充電）してからの時間（約　分）。
* 25℃で連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。
** 録画、スタンバイ、電源入／切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがあります。

再生時間

バッテリー	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-FM50（付属）	140（125）	180（160）
NP-FM70	295（265）	370（330）
NP-FM90	450（400）	560（505）
NP-FM91	520 (465)	645 (580)

満充電（（　）内は実用充電）してからの時間（約　分）。
低温では使用時間が短くなります。

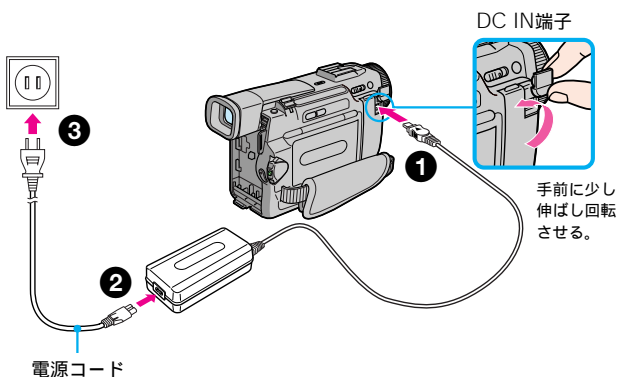
コンセントにつないで使う

ご注意

- バッテリーをつけたままでもお使いいただけます。
- 電源供給はDC IN端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC IN端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。

自動車の電源では

別売りのDCパワーアダプター／チャージャーでお使いになれます。

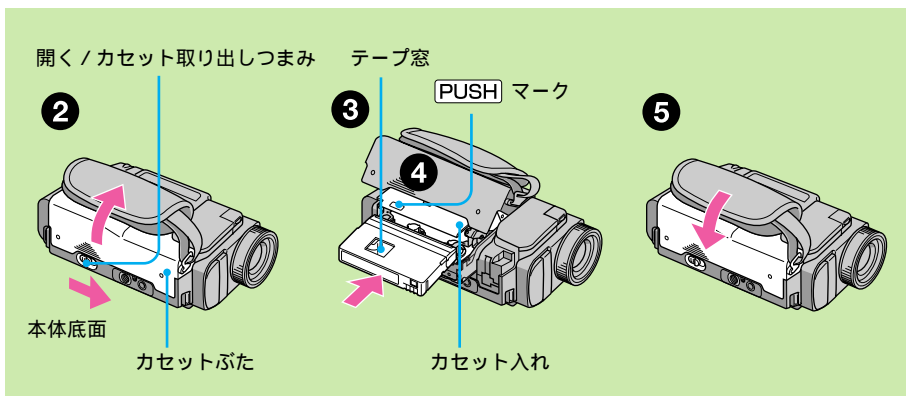
テープを再生するときなど長時間使用するときは、家庭用のコンセントを使うとバッテリー切れの心配なく使えます。

1 ACパワーアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。

DC IN端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを上にしてつなぐ。

2 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。

3 電源コードをコンセントにつなぐ。

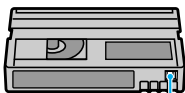
準備

準備2 カセットを入れる

ご注意

カセット入れを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。PUSH マーク以外を押しているとカセット入れが閉まらないことがあります。

カセットメモリー付きミニDVカセットをご使用のとき
カセットメモリー機能を正しくお使いいただくために71ページをご覧ください。

誤動作を防ぐために
カセットを出し入れするときは必ず電源スイッチを「切」にしましょう。

間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらし「赤」にします。

❶ バッテリーまたはACパワーアダプターをつなぐ。（6、9ページ）

❷ 開く／カセット取り出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットぶたを開ける。

カセット入れが自動的に出て開く。

❸ カセットの背の中央部を押して、カセットを入れる。

テープ窓を上にして、まっすぐ奥まで押し込む。

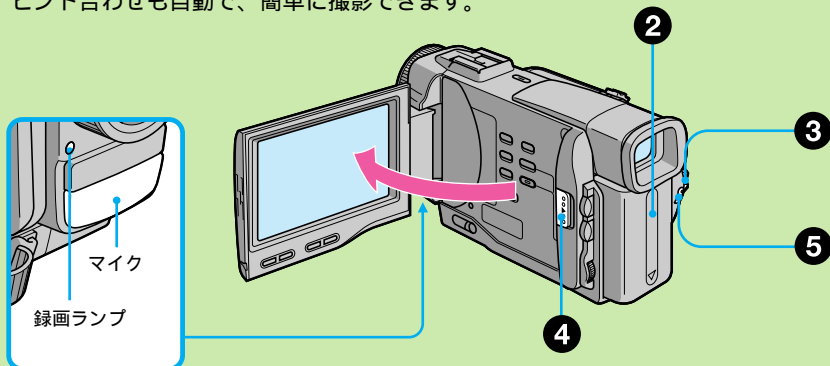
❹ PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。

カセット入れが自動的に引き込まれる。

❺ カセット入れが完全に引き込まれたら、カセットぶたを閉める。

カセットを取り出す

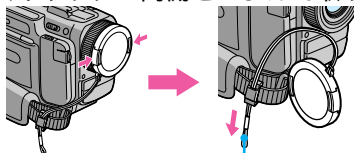
「カセットを入れる」の手順で操作し、手順3で取り出す。

撮影する

ご注意

グリップベルトをしっかりしめてください。

長時間録画したいときは
メニューの「録画モード」を「LP」にします（62ページ）。録画時間がSP（標準）モードの1.5倍になります。本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。

きれいなつなぎ撮りのために
カセットを取り出さない限り、電源を切っても撮影した場合はきれいにつながります。バッテリーの交換時は電源スイッチを「切」にしてください。
カセットメモリー付きのカセットでは、カセットを取り出した後でもエンドサーチ（17ページ）を使うと、きれいにつながります。

1 レンズキャップの両側をつまんで取りはずす。

このひもを引っ張ってレンズキャップを固定します。

2 バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1、2」（6〜10ページ）をご覧ください。

3 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。

撮影スタンバイになる。

撮影スタンバイが5分以上続くと
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるには電源スイッチを１度「切」にしてから、「カメラ」に戻します。

次のようなときは
つなぎ撮りの部分で再生画像や音声が乱れたりタイムコードが正しくつながらないことがあります。
- テープの途中で録画モード(SP/LP)を変える。
- LPモードでつなぎ撮りをする。

ご注意

液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。ただし、対面撮影中はファインダーにも画像が映ります。

液晶画面は
屋外では日差しの加減で見えにくい場合があります。ファインダーでのご使用をおすすめします。

液晶バックライトの明るさは
メニューの「パネルバックライト」で変えることができます(62ページ)。

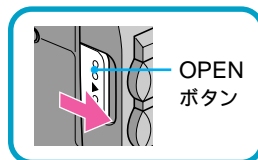
画面の明るさ／液晶バックライトは
調節してもテープ上に記録される画像に変化はありません。

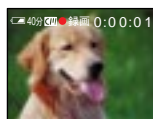
対面撮影では
液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

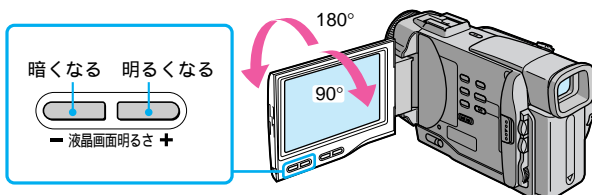
対面撮影中は
リモコンのゼロセットメモリーボタンは働きません。

対面撮影中の表示
撮影スタンバイ中は❚❚●、撮影中は●が表示されます。その他の表示は左右が反転します。表示が出ないものもあります。

❹ OPEN**ボタンを▶の方向にずらし液晶画面を開ける。**

ファインダーの画像は消える。

❺ **スタート/ストップボタンを押す。**

撮影が始まる。録画ランプが点灯する。
もう一度押すと止まる。

録画中
液晶画面を調整する

液晶画面の明るさは、液晶画面明るさボタンを押して調節します。また液晶画面はレンズの方向に180°まで、ファインダーの方向に90°まで回転し、角度を調節できます。
撮影スタンバイ中に液晶画面を180°回転させると、ファインダー内と液晶画面に☺が出ます。（**対面撮影モード**）

液晶画面を閉じるときは、液晶画面をカチッというまで垂直にしてから本体に戻します。

撮影が終わったら

1 **電源スイッチを「切」にする。**

2 **液晶画面を閉じる。**

3 **カセットを取り出す。**

ファインダーで撮影する – 視度調整

液晶画面を閉じて撮影するときは、ファインダーで画像を見ます。自分の視力に合わせてファインダー内の文字がはっきり見えるように、調整します。

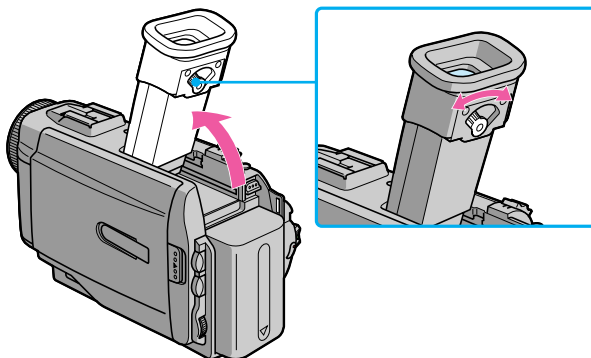
ファインダーを上げて、視度調整つまみを動かす。

撮る

ズームする

ズームレバーを動かす。

メニューで「デジタルズーム」を「入」にすると、10倍を超えるズームはデジタルズームになります。（62ページ）
お買い上げ時は「切」になっています。

このラインよりT側がデジタルズームになります。メニューで「デジタルズーム」を「入」にすると表示されます。

近くのものにピントがうまく合わないときは

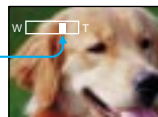
ズームレバーをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

デジタルズームについて

- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は120倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、メニューで「デジタルズーム」を「切」にすると、気付かないうちにデジタルズームになるのを防ぎます（62ページ）。

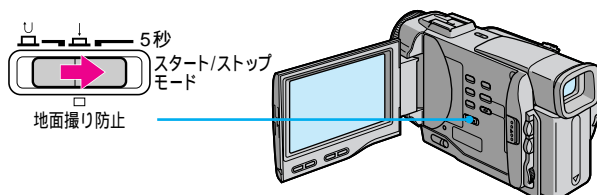
次のページへつづく

ご注意

- 「5秒」「⊥」を選ぶと、フェーダーボタンは働きません。
- 「5秒」を選ぶと、タイムコードは表示されません。

スタート/ストップモードで「5秒」を選んだとき
ファインダーに「●●●●●」が出て1秒たつごとに●が1つずつ消えます。撮影時間を延長するには●がすべて消えてしまわないうちに、もう1度スタート/ストップボタンを押します。押したときからまた約5秒間撮影できます。

タイムコードについて
ファインダー内と液晶画面にテープ走行時間が「0:00:00」（時:分:秒）と出ます。ビデオモードのときには「0:00:00:00」（時:分:秒:フレーム）と出ます。あとからこのタイムコードだけを書き直すことはできません。

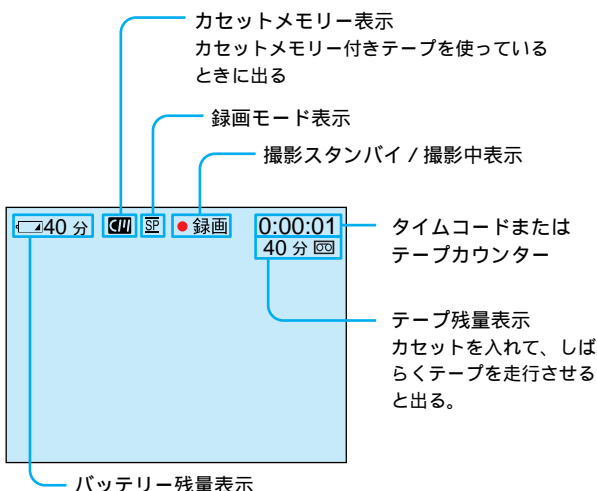
テープの残量表示について
テープの種類によっては正しく表示されないことがあります。

スタート/ストップモードを選ぶ

⊔：スタート／ストップボタンを押すと撮影が始まり、再び押すと止まります（お買い上げ時の設定）。

⊥ 地面撮り防止：
スタート/ストップボタンを押している間のみ撮影し、離すと止まります。地面などを撮り続けてしまうのを防ぎます。

5秒：スタート/ストップボタンを押すと5秒間撮影して止まります。

撮影中の表示

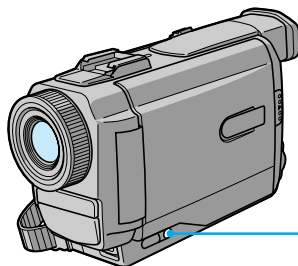
これらの表示はテープには記録されません。

逆光補正をする

逆光補正中に明るさボタンを押すと
逆光補正は解除されます。

被写体のうしろに光源があり、被写体が暗く映る時などに明るさの補正をします。

撮影中または撮影スタンバイ中に逆光補正ボタンを押す。

液晶画面またはファインダー内に逆光補正表示が出ます。逆光補正ボタンをもう一度押すと解除されます。

撮る

暗闇で撮る－NIGHTSHOT（ナイトショット）

ご注意

- 昼間の屋外の明るいところではお使いにならないでください。故障の原因になります。
- NIGHTSHOTで撮影中の画像は、正しい色が表現されません。
- NIGHTSHOT時、オートフォーカスが合いにくい時は、マニュアルフォーカスをご使用ください。

NIGHTSHOT中は以下の操作ができません

- 明るさ調節
- プログラムAE
- ホワイトバランス
- フェーダー*
- デジタルエフェクト*

* ＋スローシャッターボタンを押したときはできません。

夜間に動植物を観察するときやキャンプなど、暗い場所で撮影することができます。

撮影中または撮影スタンバイ中にNIGHTSHOTスイッチを「入」にし、スタート／ストップボタンを押す。

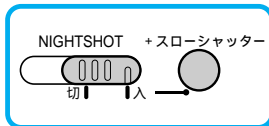
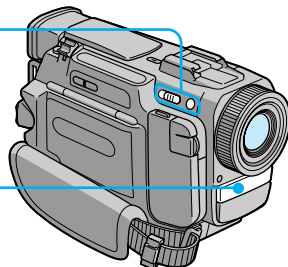
液晶画面またはファインダー内にNIGHTSHOT表示と“ NIGHTSHOT ”が点滅します。
NIGHTSHOTスイッチを「切」にすると解除されます。

次のページへつづく

NIGHTSHOT ＋スローシャッターを使う

＋スローシャッターボタンを使うと、NIGTSHOTの4倍以上の感度で被写体を明るく撮影することができます。

❶ 撮影スタンバイ中にNIGHTSHOTスイッチを「入」にする。
液晶画面またはファインダー内に◎表示が出ます。

❷ 希望のNIGHTSHOT表示が点滅するまで＋スローシャッターを繰り返し押す。
表示は次のように変わります。
◎"NIGHTSHOT"→◎1"NIGHTSHOT1"→◎2"NIGHTSHOT2"→◎"NIGHTSHOT"
NIGHTSHOTスイッチを「切」にすると解除されます。

NIGHTSHOT＋スローシャッター時のシャッタースピードは

表示	シャッタースピード
◎1"NIGHTSHOT1"	1/15
◎2"NIGHTSHOT2"	1/4

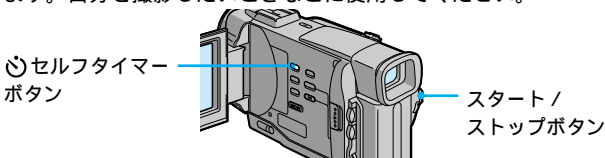
以下の操作中は＋スローシャッターボタンが働きません
- フェーダー予約、フェーダー中
- デジタルエフェクト時
- NIGHTSHOTスイッチが「切」の時

NIGHTSHOTライトを使う

NIGHTSHOTライトを使うと画像がよりはっきりします。メニューで「N.S.ライト」を「入」にします。（62ページ）

NIGHTSHOTライトは
赤外線のため、目には見えません。ライトの届く範囲は約3mです。NIGHTSHOT＋スローシャッターを使うとライトの有効距離は2倍以上になります。

セルフタイマー録画

セルフタイマーを使用すると、10秒後に自動的に撮影が始まります。自分を撮影したいときなどに使用してください。

1 ［撮影スタンバイ中］に
セルフタイマーボタンを押す。
セルフタイマー表示が出る。

2 スタート／ストップボタンを押す。
セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が早くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影が始まる。

秒読み中に撮影を止めるとき
スタート／ストップボタンをもう1度押す。リモコンを使うと便利です。

セルフタイマーで静止画を撮るとき
手順2でフォトボタンを押す。

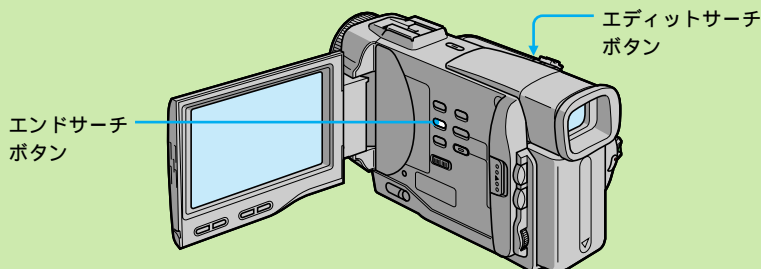
セルフタイマーを止めるとき
撮影スタンバイ中にもう1度セルフタイマーボタンを押して、セルフタイマー表示を消す。

ご注意

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー録画を実行したあと。
- 電源スイッチを「切」か「ビデオ」にしたとき。

次の撮影開始点を探す

－エンドサーチ／エディットサーチ／レックレビュー

撮った画面が気になるときや、最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。

エンドサーチは
カセットメモリーの付いていないカセットは、一度取り出すと働きません。カセットメモリー付きのカセットを使えば、カセットを一度取り出してもエンドサーチは働きます。ただし、テープの冒頭や途中に一度無記録部分を作ると正しく動作しないことがあります。（71ページ）

エンドサーチ

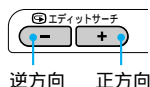
最後に撮影した終わりの部分に戻ります。

[撮影スタンバイ中］にエンドサーチボタンを押す。

最後に撮影した終わりの約5秒間が再生されて止まる。
スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

エディットサーチ

次の撮影開始点を探します。

[撮影スタンバイ中］にエディットサーチ＋／－ボタンを押し続ける。 画像が再生される。

＋：場面を進める

－：場面を戻す

指を離したところが、次の撮影開始点になる。音は出ない。

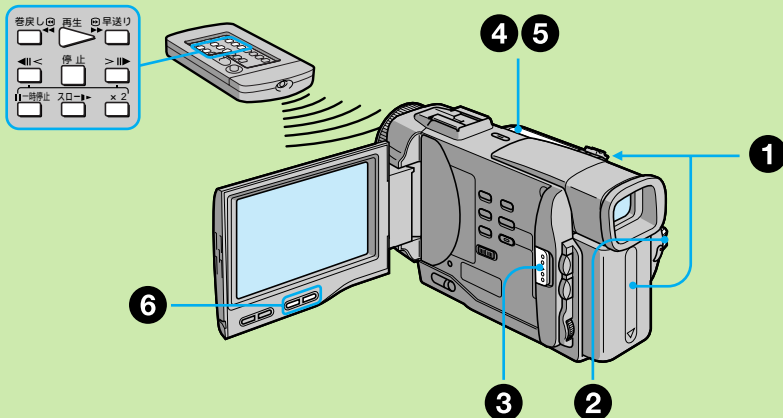
レックレビュー

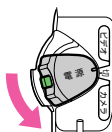
最後の場面を確認します。

[撮影スタンバイ中］にエディットサーチボタンの－側をポンと1回押す。

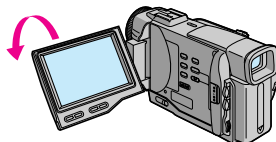
最後に撮影した場面が数秒間出て、再び撮影スタンバイに戻る。
スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

再生する

撮影したテープなどを液晶画面で見ます。液晶画面を閉じるとファインダーでも見られます。
リモコンでも操作できます。

❶ **バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。**

❷ **緑のボタンを押しながら、「ビデオ」にする。**

ビデオ操作ボタンが点灯する。

❸ **液晶画面を開ける。**

液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。

180°回転させる。　閉じるとロックがかかる。

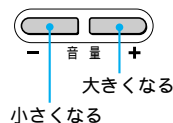
❹ **巻戻しボタンを押す。**

巻き戻しが始まる。

❺ 再生ボタンを押す。

画像が映る。

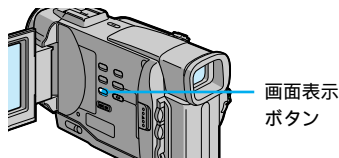
❻ 音量ボタンを押して、音量を調節する。

液晶画面を閉じているときは、音が出ません。

再生を止める

ロ停止ボタンを押す。

テープカウンターなどの表示を出す－画面表示機能

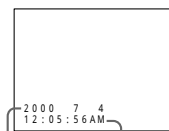
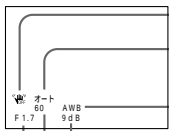
本機またはリモコンの画面表示ボタンを押す。

液晶画面に表示が出る。
消すときはもう1度押す。

データコードについて

本機は撮影時の日付•時刻およびカメラデータを自動的に画像とは別にテープに記録しています(データコード機能)。撮影中は表示されません。リモコンでのみ操作できます。

[再生中]に、リモコンのデータコードボタンを押す。

押すたびに次のように表示が変わります。

「日付表示」→「カメラデータの表示」→(表示なし)

カメラデータを表示させないようにする

メニューの「データコード」で「日付データ」を選ぶ。
(62ページ)

データコードボタンを押すたびに次のように表示が変わります。

「日付表示」←→(表示なし)

カメラデータとは

撮影したときのビデオカメラの設定の情報です。撮影中は表示されません。

次のときは、-- -- --を表示します。

- 何も記録されていない部分
- テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
- 日付・時刻を設定しないで撮影したテープ

データコードは

本機をテレビにつなぐと、テレビ画面にも出ます(21ページ)。

次のページへつづく

再生する（つづき）

エンドサーチは
カセットメモリーの付いていないカセットは、一度取り出すと働きません。カセットメモリー付きのカセットを使えば、カセットを一度取り出してもエンドサーチが働きます。（71ページ）

変速再生中は
- 音声は出ません。
- 前の映像がモザイク状に残ることがあります。

一時停止（静止画）について
5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度▷再生ボタンを押します。

スロー再生について
本機にはスロー画像もなめらかに再生する機能があります。ただし i.DV入力／出力端子から出力される信号にはこの機能は働きません。

逆方向再生について
画面の上下や、中央に横縞が入りますが、異常ではありません。

いろいろな再生

電源スイッチが「ビデオ」のときに操作します。

静止画を見る
［再生中］に❚❚一時停止ボタンを押す。
もう1度押すか、▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする
［停止中］に▶▶早送りボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す
［停止中］に◀◀巻戻しボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

逆方向に再生する
［再生中］にリモコンの＜ボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り／巻き戻しする（ピクチャーサーチ）
［再生中］に▶▶早送り／◀◀巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り／巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）
［早送り中］または［巻き戻し中］に▶▶早送り／◀◀巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

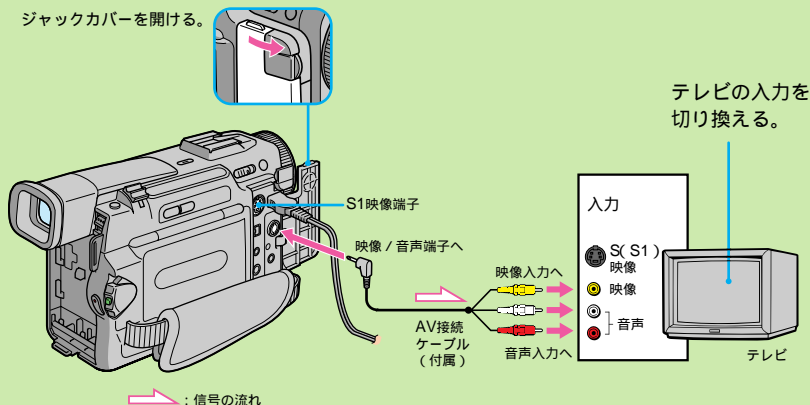
スロー画を見る
［再生中］にリモコンのスロー❚▶ボタンを押す。
逆方向にスロー再生するときは、リモコンの＜ボタンを押してからスロー❚▶ボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

2倍速で見る（倍速再生）
［再生中］にリモコンのX2ボタンを押す。
逆方向に倍速再生するときは、リモコンの＜ボタンを押してからX2ボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

コマ送りで見る
［再生一時停止中］にリモコンの❚❚▶ボタンを押す。
逆方向にコマ送りするときは、◀❚❚ボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）
［停止中］にエンドサーチボタンを押す。
最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。
電源は付属のACパワーアダプターを使って、コンセントからとることをおすすめします（9ページ）。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

別売りのS映像ケーブルを使うと再生画像がより鮮明になります。
テレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色い端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルを接続することをおすすめします。
本機のS1映像端子とテレビのS（S1）映像端子を接続します。
詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

お手持ちのテレビにS1映像入力端子がついているときは
本機のS1映像端子とつなぎ、本機で撮影したワイド画像を映すと自動的にワイド画像に切り換わります。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。
ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。
音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。
モノラル音声でお聞きになりたいときは別売りの接続コードをお使いください。

見る

次のページへつづく

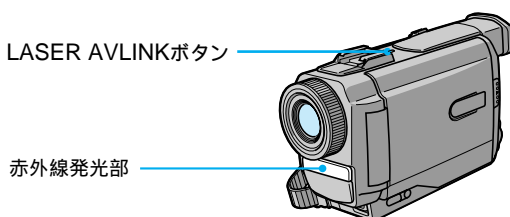
電源スイッチを「切」にすると
自動的に解除されます。

ソニー製のテレビの場合は
- 電源について
  本機のメニューで「オートTVオン」を「入」に設定して、テレビの主電源を入れておくと、下記の2つの方法で自動的にテレビの電源を入れられます。
  – 赤外線発光部をテレビのリモコン受光部に向けて、LASER　AVLINKボタンを押す。
  – LASER　AVLINKボタンを点灯させて、▷再生ボタンを押す。
- 入力について
  本機のメニューで「オートTVオン」を「入」に設定し、「TV入力切りかえ」をIRレシーバーをつないだテレビの入力端子（ビデオ1/2/3）と同じに設定すると、テレビの入力も自動的に切り換わります。（テレビによっては、切り換わるときに一瞬画像や音声がとぎれることがあります。）
- 機種によっては操作できないことがあります。

LASER AVLINKを使うと
バッテリーの使用時間が短くなりますので、使わないときはLASER AVLINKを解除しておいてください。

はソニー（株）の商標です。

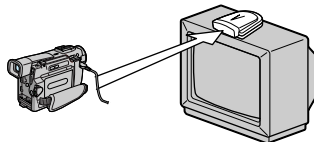
ケーブルを使わずに見る－LASER AVLINK

別売りのAVコードレスIRレシーバーをテレビにつないでおくと、ケーブルを接続しなくても本機で再生した画像をテレビで見られます。
くわしくはAVコードレスIRレシーバーの取扱説明書をご覧ください。

❶ テレビにIRレシーバーをつなぎ、IRレシーバーの電源を入れる。

❷ テレビの電源を入れ、テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。

❸ LASER AVLINKボタンを押す。
ボタンのランプが点灯する。

❹ 本機の▷再生ボタンを押す。
再生が始まる。

❺ 本機とIRレシーバーの向きを合わせる。
再生中の画像がきれいにテレビに映るようにする。

LASER AVLINKを解除する
LASER AVLINKボタンを押して、ボタンのランプを消す。

テープに静止画を撮る – テープフォト撮影

ミニDVテープに静止画を記録できます。60分テープならSPモードで約510枚、LPモードで約765枚撮れます。

- ビデオプリンターでプリントしたいとき
- 後からテレビやモニターで記念写真のように見たいとき、など。

ご注意

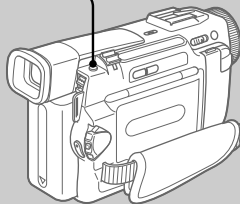
- テープフォト撮影中はモードや設定を変更することはできません。
- 静止画を記録中は電源を切ったりフォトボタンを押したりすることはできません。
- 静止画を撮影するときは、本機を振らないでください。画像が乱れることがあります。
- 以下の設定中や操作中は、テープフォト撮影できません。
  – フェーダー
  – デジタルエフェクト

リモコンのフォトで撮影すると
押したときに液晶画面またはファインダーに映っている画像が記録されます。

カメラ録画中にテープフォト撮影するときは
フォトボタンを軽く押して画像を確認することができません。フォトボタンを深く押し込んでください。約7秒間静止画を記録したあと、撮影スタンバイに戻ります。

動きのある画像をテープフォト撮影で撮影すると
他の機器で再生したときに画像がぶれることがありますが、故障ではありません。

暗いときは
別売りのビデオフラッシュライトをアクセサリーシューに取り付けてご使用ください。

ビデオフラッシュライト（別売り）を使うときは
画面上部に「ϟ」（フラッシュ充電完了）マークが出たことを確認してください。

1 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「カメラ」にする。

2 [撮影スタンバイ中]に
フォトボタンを軽く押したまま画像を確認する。

画像が静止画になり、キャプチャー表示が出る。
このとき録画はされません。

画像を選びなおすときはフォトボタンを離してからもう1度軽く押す。

3 フォトボタンを強く押し込む。

●●●●●●●

録画中は1秒ごとに赤い丸が消えていく。

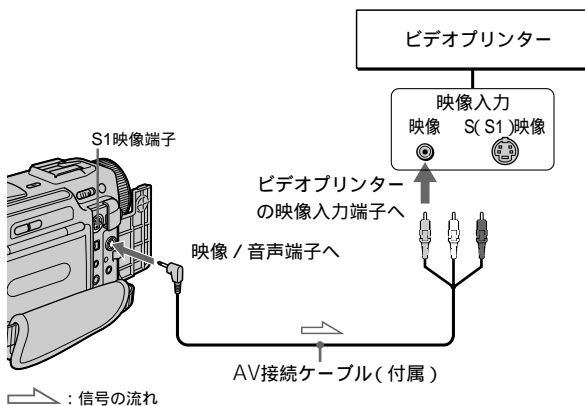
ボタンを押し込んだときの画像が約7秒間静止画で記録される。記録中の音声も同時に録音される。

記録中にファインダーまたは液晶画面にうつる画像は静止画となります。

次のページへつづく

ビデオプリンターにS（S1）映像入力端子がついているときは
別売りのS映像ケーブルでつなぐと、プリント画像がより鮮明になります。

静止画を別売りのビデオプリンターでプリントする

本機と別売りのビデオプリンターを使うとビデオプリンターに画像を取り込みプリントできます。

ビデオプリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

横長の画面にする – ワイドTVモード

ワイドテレビでご覧になるときに、画面いっぱいに映るように撮影できます。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき

ワイドTVモードで撮影

ファインダー/液晶画面

通常のテレビで再生*

ワイドテレビで再生*

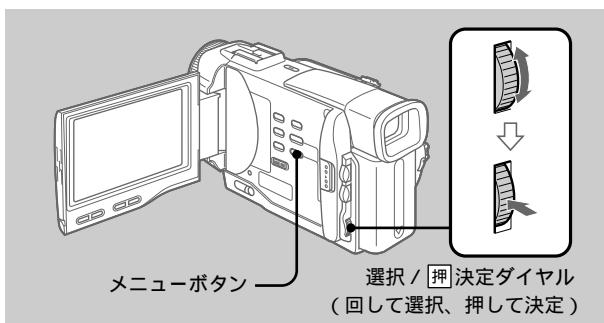
*画像が縦長になります。

テレビをフルモードに切り換える

ワイドTVモード中は
以下の操作はできません。
- オールドムービー
- フェーダーのバウンド

録画中は
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。
ワイドTVモードを解除するときは、必ず「撮影スタンバイ」にしてから、「ワイドTV」を「切」にしてください。

テレビの接続について
下記の接続のとき、「ワイドTVモード」で記録した画像を再生すると、画像は自動的にフルモードに切り換わります。
- ビデオIDシステム(ID-1/ID-2)方式対応のテレビと接続したとき。
- テレビのS(S1)映像入力端子に接続したとき。

ID-2方式とは
ID-1方式に加え著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステムです。

[撮影スタンバイ中] に
メニューで「ワイドTV」を「入」にする。
(62ページ)

ワイドTVモードを解除する

メニューで「切」を選ぶ。

使いこなす—撮影—

効果的な場面転換をする – フェーダー

余韻を残して場面を変えたり徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）して効果的な場面転換を演出できます。

モノトーンフェーダー　フェードインは白黒からカラーに、
フェードアウトはカラーから白黒になります。

* メニューでデジタルズームが「入」になっているときは使えません。

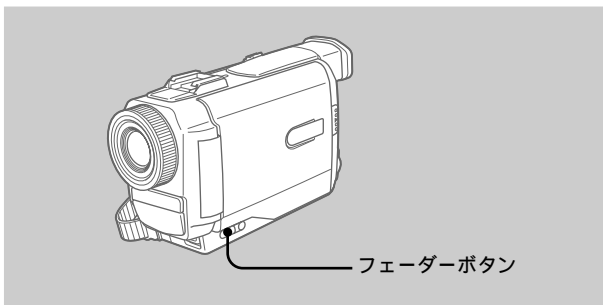
ご注意

フェード中には以下の操作ができません。また以下の操作中にはフェードイン・フェードアウトはできません。
- デジタルエフェクト
- プログラムAEのキャンドルモード（オーバーラップのみ）
- NIGHTSHOT ＋スローシャッター
- テープフォト撮影

「オーバーラップ」を出すと
本機が自動的に動作し、テープ上の画像を記憶します。記憶中はオーバーラップ表示が早い点滅になり、再生画が出ます。
このとき、テープの状態によっては、きれいな画像が撮影できないことがあります。

スタート／ストップモードが「」または「5秒」のとき
フェードイン・フェードアウトはできません。

バウンド中には以下の操作ができません
- 明るさ調節
- フォーカス
- ズーム
- ピクチャーエフェクト

以下の操作中にはバウンドが表示されません
- メニューでデジタルズームを「入」にしているとき
- ワイドTVモード
- ピクチャーエフェクト
- プログラムAE

❶ • フェードインは［撮影スタンバイ中］に
• フェードアウトは［撮影中］に
フェーダーボタンを押して希望のフェーダーモード表示を出す。

押すたびに変わります。
フェーダー→モザイクフェーダー→バウンド→モノトーンフェーダー→オーバーラップ→（表示無し）

表示は前回使ったモードから表示されます。

❷ **スタート/ストップボタンを押す。**
フェーダーモード表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

フェードイン・フェードアウトを解除する

フェード終了後：自動的に解除される。

フェード前：スタート／ストップボタンを押す前に再度フェーダーボタンを押し、フェーダーモード表示を消す。

使いこなす―撮影―

画像に特殊効果を加える – ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画の
ような特殊効果を加えられます。

ネガアート
→写真のネガフィルムのように

ソラリ
→明暗をはっきりさせたイラストのように

スリム
→縦に引き伸ばしたように

ストレッチ
→横に引き伸ばしたように

パステル
→淡い色のパステル画のように

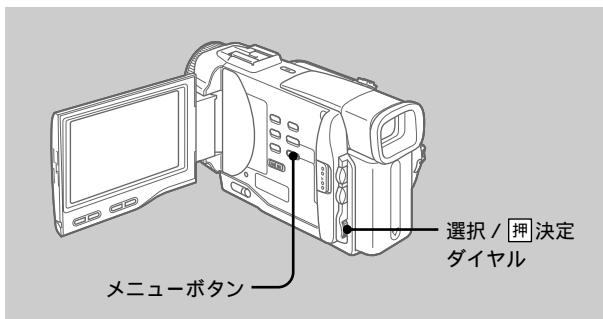
モザイク
→タイルを組み合わせたように

セピア→古い写真のような色合いに　**モノトーン**→白黒に

ピクチャーエフェクト中は
オールドムービーは選べません。

電源スイッチを「切」にすると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

撮影中にピクチャーエフェクトを選ぶと
そのまま記録されます。

電源スイッチを「ビデオ」にしていると
スリム、ストレッチ、パステル、モザイクは、メニューに表示されません。

メニューで希望のピクチャーエフェクトを選ぶ。
(62ページ)

ピクチャーエフェクトを解除する

メニューで「切」を選ぶ。

再生しているテープの画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることもできます。

再生中は、ネガアート、ソラリ、セピア、モノトーンが選べます。

特殊な演出を加えて撮る – デジタルエフェクト

デジタル機能を使って撮影画像にさまざまな演出を加えることができます。音声はそのまま録音されます。

スチル
あらかじめ取り込んだ静止画に、動画を重ねて撮影する。

フラッシュ（フラッシュモーション）
コマ送り撮影をする。

ルミキー（ルミナンスキー）
あらかじめ取り込んだ静止画の明るい部分に、動画をはめ込む。

トレイル
被写体の動きが、尾を引くように撮影する。

スローシャッター
シャッタースピードを落とす。暗いところで撮影しやすい。画像はザラつく。

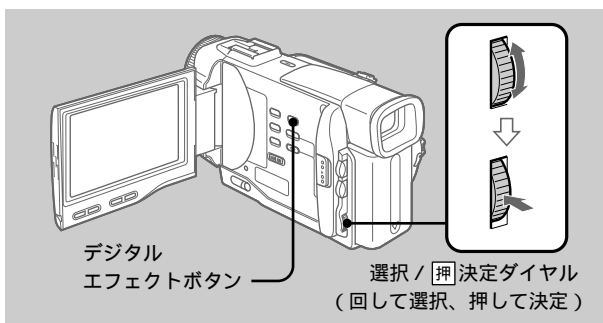
オールドムービー
画面は横長、画像はセピア、シャッタースピードを落として、昔の映画のように撮影する。

（スチル）

（ルミキー）

ご注意

- デジタルエフェクト操作中は以下の操作ができません。
  – フェーダー
  – プログラムAEのキャンドルモード
  – テープフォト撮影
  – NIGHTSHOT ＋スローシャッター
- スローシャッターを選ぶと以下の操作ができません。
  – プログラムAE
- オールドムービーを選ぶと以下の操作ができません。
  – ワイドTVモード
  – ピクチャーエフェクト
  – プログラムAE

電源スイッチを「切」にすると
デジタルエフェクトは自動的に解除されます。

1 ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に **デジタルエフェクトボタンを押す。**

デジタルエフェクト表示が出る。

2 **選択／押 決定ダイヤルを回して使いたいモードを選ぶ。**

次の順で変わります
スチル←→フラッシュ←→ルミキー←→トレイル←→スローシャッター←→オールドムービー

使いこなす－撮影－

次のページへつづく

スローシャッターでは
自動でピントが合いにくくなることがあります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせてください。

スローシャッターのシャッタースピードは

表示	シャッタースピード
スローシャッター1	1/30
スローシャッター2	1/15
スローシャッター3	1/8
スローシャッター4	1/4

❸ 選択／押 決定ダイヤルを押して決定する。

表示が点滅から点灯に変わり、バーが表示される。
スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

❹ 選択／押 決定ダイヤルを回して、効果を調節する。

調節する内容は以下の通り。

スチル	撮影中の動画の背景にある静止画の写り具合。
フラッシュ	フラッシュの間隔。
ルミキー	静止画の、動画を取り込む部分の明るさの度合い。
トレイル	残像が残る時間。
スローシャッター	シャッタースピード。 数字を大きくするほど遅くなる。
オールドムービー	調節は必要ない。

スチル IIIIIIII

バー表示。大きくするほど効果が大きくなる。
次のデジタルエフェクトで表示される。
スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイル。

デジタルエフェクトを解除する

もう一度デジタルエフェクトボタンを押す。

自然な色あいに調節する－ホワイトバランス

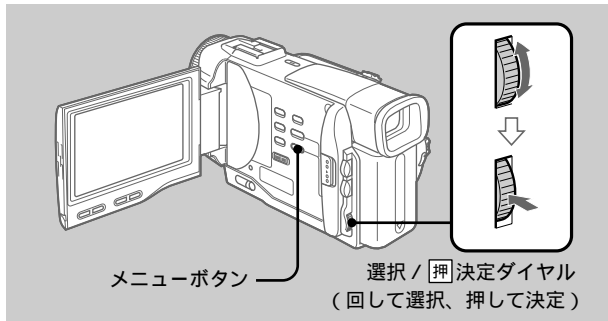
明るさや撮影する状況に合わせて、自然な色あいの画像になるように手動で調節できます。通常は、自動的に色あいの調節が行われています。

- パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- 夜景やネオンサインなどを屋外で撮るとき、など。

スタジオ照明やビデオライトで撮影する場合は
(オクナイ)に設定して撮影することをおすすめします。

蛍光灯照明下で撮影する場合は
ホワイトバランスを自動調節にするか、ホールドに設定して撮影することをおすすめします。(オクナイ)に設定して撮影すると、ホワイトバランスが正しくとれない場合があります。

ホワイトバランスを「オート」にしたままで
次のように撮影条件を変えたときは、電源スイッチを「カメラ」にしてから10秒間くらい白っぽい被写体に向けるとよりよい色あいに調節されます。
- バッテリーを交換したとき
- 画像の明るさを固定させたまま屋外と屋内を行き来したとき

ホワイトバランスを「ホールド」にしたままで
次のように撮影条件を変えたときは、ホワイトバランスを一度「オート」にしてしばらくしてから「ホールド」に戻してください。
- プログラムAEのモードを変えたとき
- 屋外と屋内を行き来したとき

[撮影中]または[撮影スタンバイ中]に、**メニューで希望のホワイトバランスモードを選ぶ。(62ページ)**

(オクナイ)
- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下で撮るとき
- ナトリウムランプや水銀灯の下で撮るとき

(オクガイ)
- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき
- 昼光色蛍光灯の下で撮るとき

HOLD（ホールド）
単一色の被写体や背景を撮るとき

自動調節に戻す

メニューのホワイトバランスモードで表示なし（オート）を選ぶ。（62ページ）

撮影状況に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

スポットライトモード
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

ソフトポートレートモード
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。

スポーツレッスンモード
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。

ビーチ&スキーモード
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

サンセット&ムーンモード
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影することができます。

風景モード
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

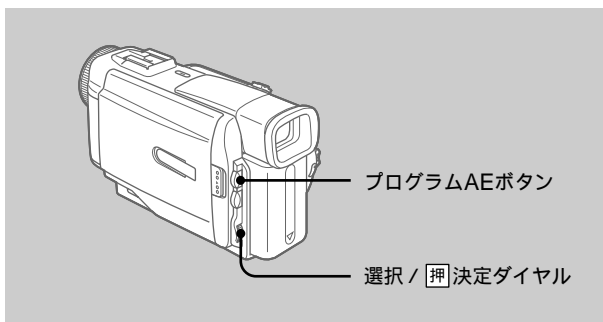
キャンドルモード
暗い場所でも、被写体を明るく撮影することができます。

ご注意

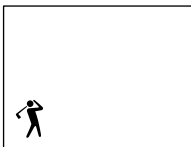
- 次のモードでは近くのものにピントが合わないようにフォーカスを制御します。
  – スポットライトモード
  – スポーツレッスンモード
  – ビーチ＆スキーモード
- 次のモードでは遠景のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
  – サンセット＆ムーンモード
  – 風景モード
- プログラムAE中は以下の操作ができません。
  – スローシャッター
  – オールドムービー
  – バウンド
- キャンドルモード中は以下の操作ができません。
  – デジタルエフェクト
  – オーバーラップ
- NIGHTSHOT時プログラムAEボタンを押すと、プログラムAEモード表示が点滅し、プログラムAEは操作できません。

ホワイトバランスを「オート」にしているときは
プログラムAEを使うときにも自動的にホワイトバランスが調節されます。

プログラムAEモードで撮影中でも
明るさを調節できます。

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると
次のモードでは画面が明るくなったりする現象（フリッカー）が起こったり、色が変化することがあります。このような場合にはプログラムAEを解除してください。
– ソフトポートレートモード
– スポーツレッスンモード

1 ［撮影スタンバイ中］に
プログラムAEボタンを押す。

プログラムAEモード表示が出る。

2 **選択／押 決定ダイヤルを回して希望のプログラムAEモード表示を出す。**

次の順で変わります。
スポットライトモード←→ソフトポートレートモード←→スポーツレッスンモード←→ビーチ&スキーモード←→サンセット&ムーンモード←→風景モード←→キャンドルモード

プログラムAEを解除する

プログラムAEボタンを押す。

使いこなすー撮影ー

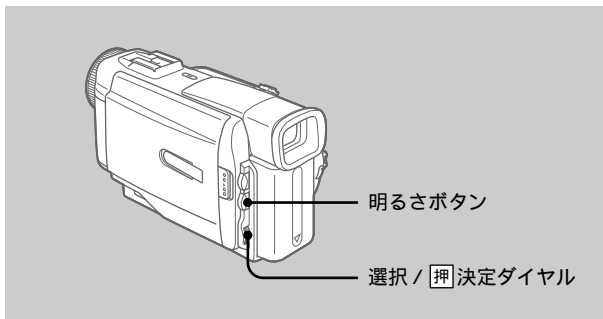
手動で画像の明るさを調節する

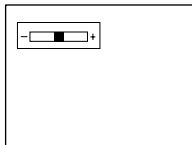
画像をお好みの明るさに手動調節し、固定することができます。

- 逆光補正を細かく行いたいとき。
- 背景に比べて、被写体が明るすぎるとき。
- 夜景を撮りたいときなど

ご注意

明るさ調節しているときは逆光補正は働きません。

以下のとき、明るさ調節は自動に戻ります。
- プログラムAEのモードを変える。
- NIGHTSHOTを「入」にする。

❶ ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に**明るさボタンを押す。**

明るさ表示が出る。

❷ **選択／押 決定ダイヤルを回し、明るさを調節する。**

自動調節に戻す

もう一度明るさボタンを押す。

手動でピントを合わせる

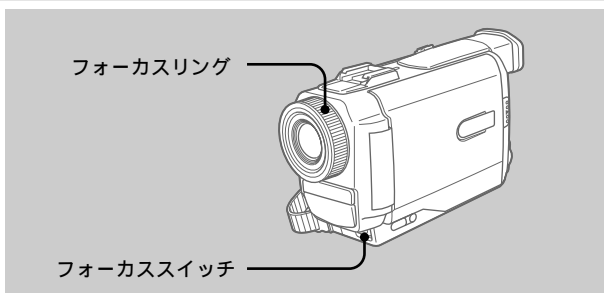
撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

- 自動ではピントが合いにくいとき。
  - 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
  - 被写体が横縞だけのもののとき
  - 被写体と背景とのコントラストが弱いとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき。
- 三脚を使って静止した被写体を撮るのにピントを固定したいとき。

ズームのときにもピントがずれないようにするには
ズームをT側（望遠）にしてからピントを合わせます。ただし、デジタルズームを使用するとピントが合わせにくくなります。

暗い室内で撮るときや明るい野外で動きの激しいものを撮るとき
T側（望遠）で手動ピント合わせをしたあと、なるべくW側（広角）で撮ります。

近づいて大きく撮るとき
ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

手動でピント合わせをするとき、が次のようなマークに変わります。
無限遠にあるとき。
それ以上近くにピント合わせをすることができないとき。

1 ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に
フォーカススイッチを「手動」にする。
手動ピント合わせ表示が出る。

2 **フォーカスリングを回し、ピントの合う位置を調節する。**

自動調節に戻すとき

フォーカススイッチを「自動」にする。

ピントを無限遠にして撮影する

フォーカススイッチを「無限」に合わせる。ピントは無限遠になり、の表示が出る。

指を離すとピント合わせが手動に戻る。

遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントがあってしまうときに使います。

画像にピクチャーエフェクトを加えて見る

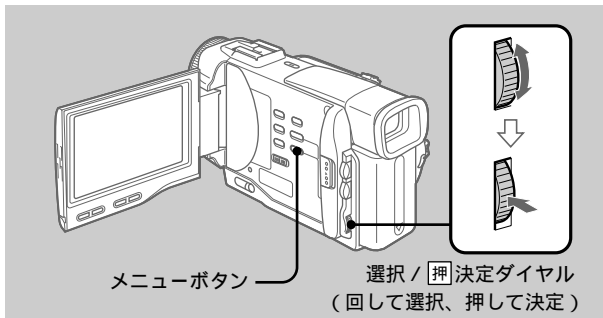
再生しているテープの画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることができます。

再生中は、ピクチャーエフェクトのうち、ネガアート、ソラリ、セピア、モノトーンが使えます。

ご注意

- 外部入力している画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることはできません。
- 加工した画像を本機で録画することはできません。
  本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

ピクチャーエフェクトを加えた画像は
i DV入力/出力端子からは出力されません。

電源スイッチを「切」にするか、再生を停止すると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

［再生中］に

メニューで希望のピクチャーエフェクトを選ぶ。（62**ページ**）

各ピクチャーエフェクトについて詳しくは28ページをご覧ください。

ピクチャーエフェクトを解除する

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選ぶ。

画像にデジタルエフェクトを加えて見る

再生しているテープの画像にデジタルエフェクトを加えて見ることができます。

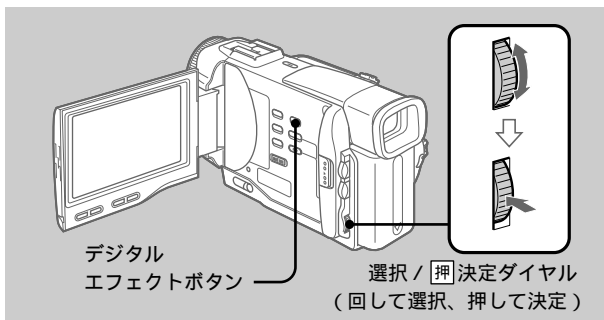
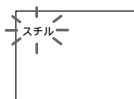
再生中は、デジタルエフェクトのうち、スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイルが使えます。

ご注意

- 外部入力している画像にデジタルエフェクトを加えて見ることはできません。
- 加工した画像を本機で録画することはできません。本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

デジタルエフェクトを加えた画像は

i. DV入力/出力端子からは出力されません。

電源スイッチを「切」にするか、再生を停止すると
デジタルエフェクトは自動的に解除されます。

❶ ［再生中］に
デジタルエフェクトボタンを押し、選択／押決定ダイヤルを回して使いたいモードを選ぶ。

次の順で変わります。
スチル←→フラッシュ←→ルミキー←→トレイル

❷ **選択／押決定ダイヤルを押して決定する。**
表示が点滅から点灯に変わり、バーが表示される。

スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

❸ **選択／押決定ダイヤルを回して、効果を調節する。**
各デジタルエフェクトについて詳しくは29ページをご覧ください。

デジタルエフェクトを解除する

もう一度デジタルエフェクトボタンを押す。

見たい場面にすばやく戻す – ゼロセットメモリー

テープカウンター値が「0：00：00」の地点まで巻き戻しや早送りをして、自動的に停止するようにできます。リモコンでのみ操作できます。

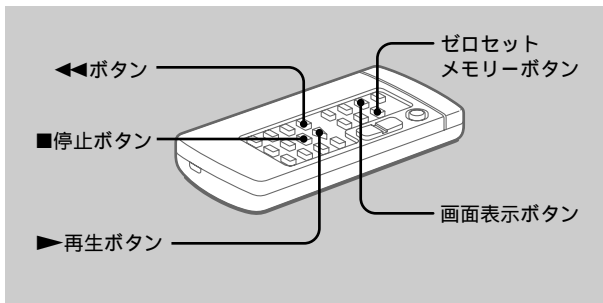
再生中に、後からもう一度見たいと思う場面があったときなど。

ご注意

- 巻き戻す前にゼロセットメモリーボタンをもう１度押すと、ゼロセットメモリーが解除されます。
- タイムコードとテープカウンターに多少誤差が出ることがあります。
- テープの途中に記録されていない部分があるとゼロセットメモリー機能が正しく働かない場合があります。

撮影スタンバイ中にも操作できます

ある部分だけ撮り直したいときに、撮り直したい部分の終了点でゼロセットメモリーボタンを押しておきます。
撮り直したい部分の開始点まで巻き戻して撮影を始めると終了点でテープが停止し、再び撮影スタンバイになります。

❶ ［再生中］に
画面表示ボタンを押す。

❷ **後から見たい場面でゼロセットメモリーボタンボタンを押す。**

テープカウンター値が「0:00:00」になる。
ゼロセットメモリー表示が点滅する。

❸ **再生し終わったら■停止ボタンを押す。**

❹ **◀◀巻戻しボタンを押す。**

テープカウンター値が「0:00:00」の付近で自動的に停止する。テープカウンターがタイムコード表示に戻り、ゼロセットメモリー表示が消える。

❺ **►再生ボタンを押す。**

再生が始まる。

撮影日で頭出しする – 日付サーチ

撮影した日付の変わり目を頭出しできます。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。リモコンでのみ操作できます。

撮影日の変わり目を確認したり、撮影日ごとに編集するときなど。

■カセットメモリーを使った日付サーチ ➡ 画面で撮影日を選んで頭出し

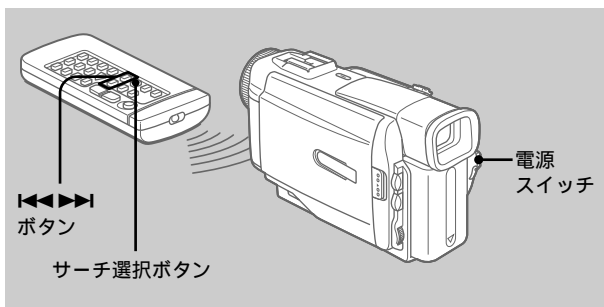
■カセットメモリーを使わない日付サーチ ➡ 撮影した日付の変わり目を頭出し

ご注意

日付の変更点の間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく検出されない場合があります。

録画した部分の間に無記録部のあるテープでは
日付サーチが正しく働かないことがあります。

1つのカセットのカセットメモリーに入る日付データは
6つまでです。日付データが7つ以上あるときは、「カセットメモリーを使わずに頭出しする」(40ページ)の手順で検索してください。

サーチ選択ボタンは
押すごとにタイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→(表示なし)の順番で切り換わります。

カセットメモリーを使って頭出しする

カセットメモリー付きカセットでのみできます。(71ページ)

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ メニューで の項目の「Cメモリーサーチ」を「入」にする。(62ページ)

お買い上げ時は「入」に設定されています。

❸ サーチ選択ボタンを押して、日付サーチを選ぶ。

日付サーチ画面が出る。

次のページへつづく

❹ **.◀◀ または▶▶.ボタンを押して、頭出ししたい日付を選ぶ。**

選んだ日付の場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

カセットメモリーを使わずに頭出しする

❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ **メニューで の項目の「Cメモリーサーチ」を「切」にする。（62ページ）**

❸ **サーチ選択ボタンを押して、日付サーチを選ぶ。**

❹ **.◀◀ または▶▶.ボタンを押す。**

日付をさかのぼるときは、.◀◀ ボタンを、日付を進めるときは、▶▶.ボタンを押す。日付の変わり目で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（.◀◀）または後ろ（▶▶.）の場面が頭出しされる。

サーチを止める

■停止ボタンを押す。

タイトル場面を頭出しする – タイトルサーチ

カセットメモリー付きカセットを使えば、タイトルを入れた場面を探せます（タイトルサーチ）。（71ページ）リモコンでのみ操作できます。

タイトルを入れた場面を探したいとき

カセットメモリーの付いていないカセットでは
タイトルを入れたり、タイトル場面を頭出ししたりできません。

タイトルを入れるには
55ページをご覧ください。

録画した部分の間に無記録部のあるテープでは
タイトルサーチが正しく働かないことがあります。

サーチ選択ボタンは
押すごとにタイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→（表示なし）の順番で切り換わります。

❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

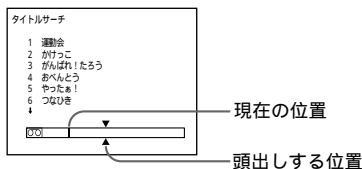
❷ **メニューでCMの項目の「Cメモリーサーチ」を「入」にする。（62ページ）**

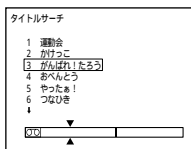
お買い上げ時は「入」に設定されています。

❸ **サーチ選択ボタンを押して、タイトルサーチを選ぶ。**

タイトルサーチ画面が出る。

使いこなす―再生

次のページへつづく

❹ |◀◀ または▶▶|ボタンを押して、頭出ししたいタイトルを選ぶ。

選んだタイトルの場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

見たい静止画を探す ー フォトサーチ／フォトスキャン

「テープフォト撮影」でミニDVテープに撮影した静止画を頭出しできます（フォトサーチ）。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。

また、カセットメモリーとは関係なく静止画を次々に探し、自動的に5秒ずつ再生することもできます（フォトスキャン）。

リモコンでのみ操作できます。

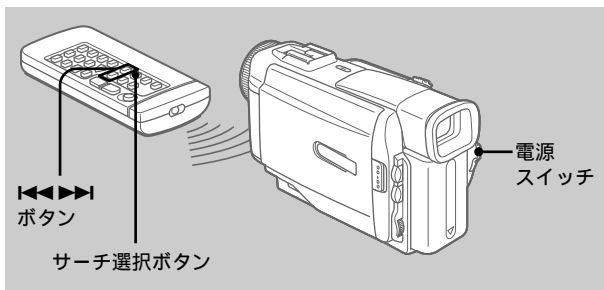
静止画の場面を確認したり、静止画をまとめて編集するときなど。

■カセットメモリーを使ったフォトサーチ ➡ 画面で静止画の撮影日時を選んで頭出し

■カセットメモリーを使わないフォトサーチ ➡ 撮影日時とは関係なく静止画を探して頭出し

録画した部分の間に無記録部のあるテープでは
フォトサーチが正しく働かないことがあります。

1つのカセットのカセットメモリーに入るフォトデータは
12枚までです。13枚以上ある場合は、フォトスキャンで検索してください。

サーチ選択ボタンは
押すごとにタイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→（表示なし）の順番で切り換わります。

カセットメモリーを使って静止画を探す ーフォトサーチ

カセットメモリー付きカセットでのみできます。（71ページ）

❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

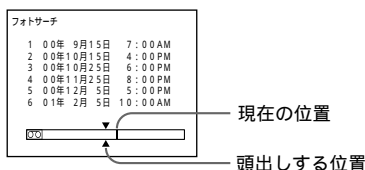
❷ **メニューで の項目の「Cメモリーサーチ」を「入」にする。（62ページ）**

お買い上げ時は「入」に設定されています。

❸ **サーチ選択ボタンを押して、フォトサーチを選ぶ。**

フォトサーチ画面が出る。

使いこなすー再生

次のページへつづく

4 ⏮ または⏭ボタンを押して、頭出ししたい静止画の撮影日時を選ぶ。

選んだ撮影日時の静止画が出る。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

カセットメモリーを使わずに静止画を探す －フォトサーチ

1 電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 メニューで[CM]の項目の「Cメモリーサーチ」を「切」にする。（62ページ）

3 サーチ選択ボタンを押して、フォトサーチを選ぶ。

4 ⏮ または⏭ボタンを押す。

静止画の場面で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（⏮）または後ろ（⏭）の場面が頭出しされる。

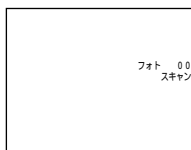
サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

静止画を次々に出して探すーフォトスキャン

❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ **サーチ選択ボタンを押して、フォトスキャンを選ぶ。**

フォトスキャン画面が出る。

❸ **I◀◀ または▶▶Iボタンを押す。**

静止画が順に5秒ずつ表示される。

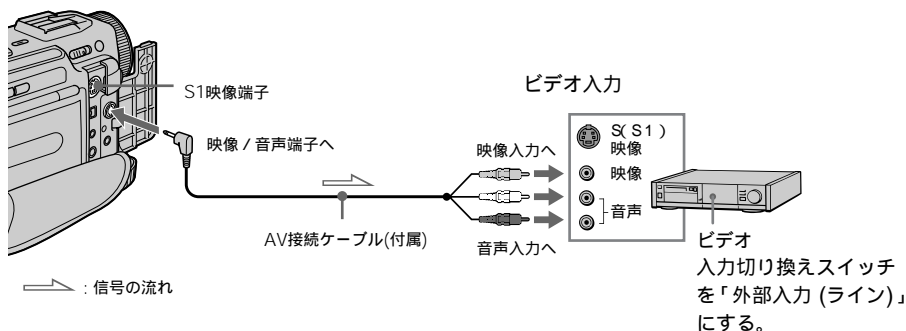
フォトスキャンを止める

■ 停止ボタンを押す。

使いこなすー再生ー

他のビデオへダビングする

AV接続ケーブルでつなぐ

再生側　**録画側**

ダビングの前に
メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。(お買い上げ時は、「パネル」に設定されています。)

次のボタンを押して画面の表示を消してからダビングしてください。
- 画面表示ボタン
- データコードボタン (リモコン)
- サーチ選択ボタン(リモコン)

消さないでダビングするとテープに記録されてしまいます。

相手側のビデオは以下のどの方式のビデオでも使えます。
8, Hi8, Digital8, VHS, VHS-C, S-VHS, S-VHS-C, β, ED Beta, Mini DV, DV

録画側ビデオの音声入力がひとつ(モノラル)の場合
AV接続ケーブル(付属)の黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと録画画像がより鮮明になります。
ビデオにS(S1)映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子(映像)のかわりに別売りのS映像ケーブルを接続することをおすすめします。
本機のS1映像端子とビデオのS(S1)映像端子を接続します。DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

❶ カセットを準備する。

本機　＝撮影ずみのカセットを入れる。

録画機＝ダビングしたいカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ 本機で再生する。

❹ 録画機で録画をはじめる。

ダビングが終わったら

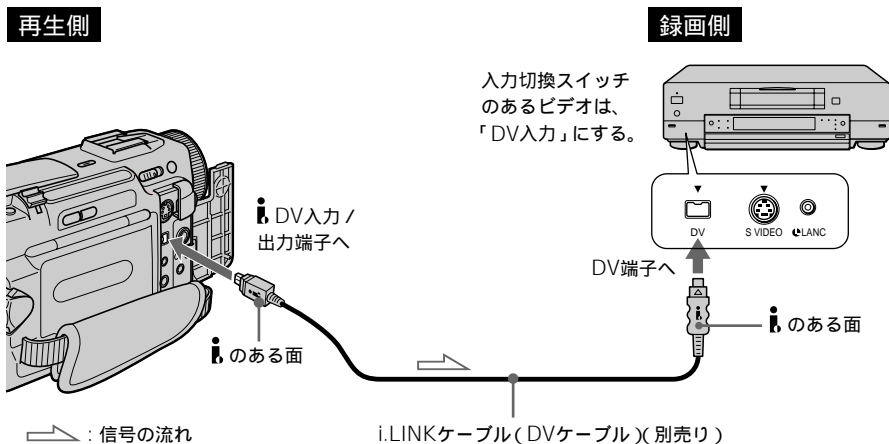
録画機で録画を停止する。

本機で再生を停止する。

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（DVケーブル）（別売り）でつなぎダビング編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

タイトル、画面表示、カセットメモリーの内容はダビングできません。

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できるのは1台だけです

デジタルダビング中は以下の操作はできません。

– ピクチャーエフェクト
– デジタルエフェクト

本機は録画側としても使えます
i.LINKケーブル(DVケーブル)をつなぎかえなくても録画機または再生機として使えます。録画機として使うときは、液晶画面やファインダーに「DV入力」の表示が出るのを確認してください。両方の機器に出ることもあります。

再生一時停止にしている画像は
DV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。
また、他機で再生したとき画像がぶれることがあります。

❶ カセットを準備する。

本機　＝撮影ずみのカセットを入れる。

録画機＝ダビングしたいカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ 本機で再生する。

❹ 録画機で録画をはじめる。

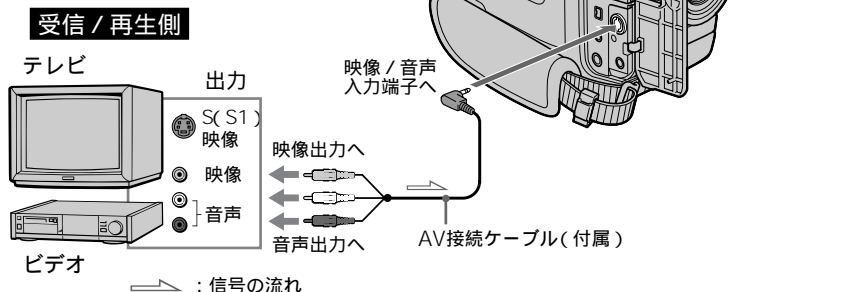
ダビングが終わったら

録画機で録画を停止する。

本機で再生を停止する。

ビデオやテレビから録画する

AV接続ケーブルでつなぐ

本機を録画機として使い、他のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。本機の音量は最小にしておいてください。画像が乱れることがあります。

ご注意

再生側のビデオで早送りやスロー再生などを行うと、本機で録画中の画像が白黒になります。録画するときはテープを通常速度で再生してください。

ビデオやテレビの音声出力端子がひとつ(モノラル)の場合
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声出力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと録画画像がより鮮明になります。
ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルを接続することをおすすめします。
本機のS1映像端子とビデオやテレビのS（S1）映像端子を接続します。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

❶ カセットを準備する。

本機：録画用カセットを入れる。
ビデオから録画するときは：他のビデオに録画ずみのカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ メニューで「画面表示」を「パネル」にする。（62ページ）

ビデオやテレビの画像が液晶画面またはファインダーに出る。

❹ 本機を録画一時停止にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐにⅡ一時停止ボタンを押す。

●録画 → 一時停止 Ⅱ

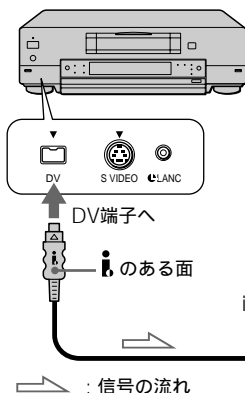
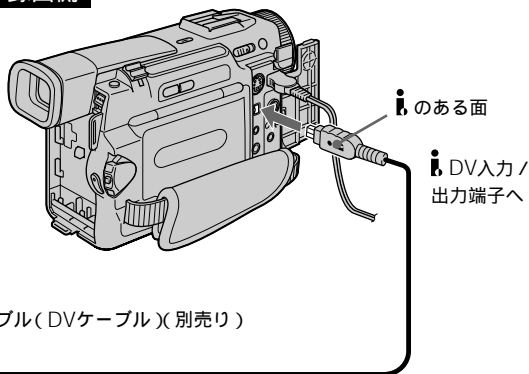
❺ 他のビデオを再生する。または、録画したいテレビ番組を受信する。

❻ 録画したい場面でⅡ一時停止ボタンを押して録画を始める。

ダビングが終わったら

本機で録画を停止し、再生側のビデオで再生を停止する。

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（DVケーブル）（別売り）でつなぎ、本機で録画・編集ができます。デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できるのは1台だけです

デジタルダビングしているとき
モニター映像に色ムラが出ることがありますが、ダビングされた画像には影響ありません。

再生一時停止にしている画像は
DV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。
また、本機で再生したとき画像がぶれることがあります。

録画を始める前に
画面表示ボタンを押して画面表示を出してから、液晶画面やファインダーに「DV入力」の表示が出ることを確認してください。表示は両方の機器に出ることもあります。

❶ カセットを準備する。
本機：録画用カセットを入れる。
ビデオから録画するときは：再生側のビデオに録画ずみのカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ メニューでETCの項目の「画面表示」を「パネル」にする。（62ページ）

❹ 本機を録画一時停止にする。
●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐにII一時停止ボタンを押す。

●録画 → 一時停止 II

❺ 再生側のビデオを再生する。
DV機器の画像が液晶画面またはファインダーに出る。

❻ 録画したい場面でII一時停止ボタンを押して録画を始める。

ダビングが終わったら
本機で録画を停止し、再生側のビデオで再生を停止する。

編集する

撮影したテープに新しく画像を挿入する

撮影、録画済みテープの指定した部分に、他のビデオからの映像・音声を挿入（インサート編集）できます。

リモコンも使います。

48ページまたは49ページの接続と準備をし、他機に挿入したい部分の入ったテープを入れておきます。

(a)

テープの走行方向

挿入したい部分

挿入したい部分の入ったテープ（他機）

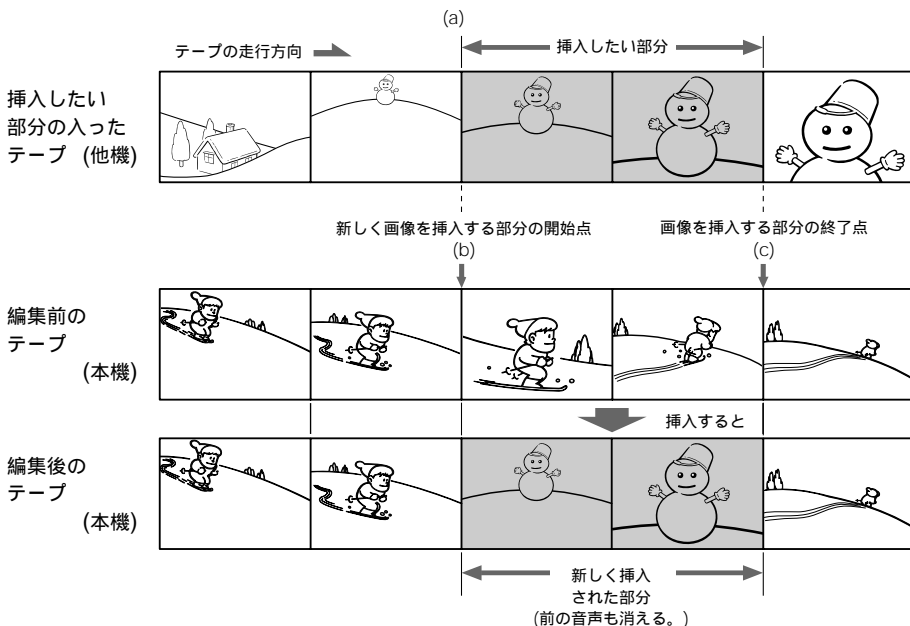
新しく画像を挿入する部分の開始点 (b)

画像を挿入する部分の終了点 (c)

編集前のテープ（本機）

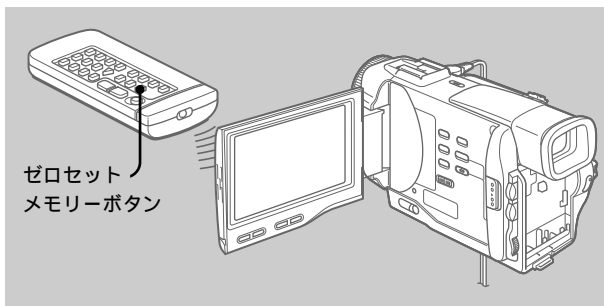
挿入すると

編集後のテープ（本機）

新しく挿入された部分
(前の音声も消える。)

ご注意

新しく挿入された部分の編集前の映像と音声は消えます。

他のビデオで録画したテープに挿入すると
画質や音質が劣化することがあります。（本機以外のDCR-TRV8Kを含む）。本機で録画されたテープに挿入することをおすすめします。

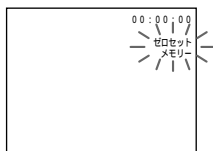
新しく挿入された部分を再生すると
終了点の画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。
LPモード時は、開始点と終了点の画像と音声が乱れることがあります。

❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

終了点を設定せずに録画するときは
手順3、4をとばします。
終了したいところで■停止ボタンを押します。

❷ 他機（再生側）で、挿入したい部分（a）の少し前で、再生一時停止状態にする。

❸ 本機で、挿入部分の終了点（c）を探し、再生一時停止状態にする。

❹ リモコンのゼロセットメモリーボタンを押す。

「ゼロセットメモリー」が点滅し、挿入部分の終了点が記憶され、テープカウンター値が「0:00:00」になる。

❺ 本機で、挿入部分の開始点（b）を探し、録画一時停止状態にする。

●録画ボタンを2つ同時に押す。

❻ 他機（再生側）のII一時停止ボタンを先に押し、数秒後に本機のIIを押す。

本機の挿入部分に、新たにビデオ（再生側）の映像と音声が記録され始める。

テープカウンター値が「0:00:00」の付近で、本機は自動的に停止になり、ゼロセットメモリーが解除される。

終了点の位置を変える

手順5の後でゼロセットメモリーボタンをもう1度押し、「ゼロセットメモリー」表示を消して、手順3からやり直す。

編集する

次のページへつづく

記録済みテープに音声を追加する – アフレコ

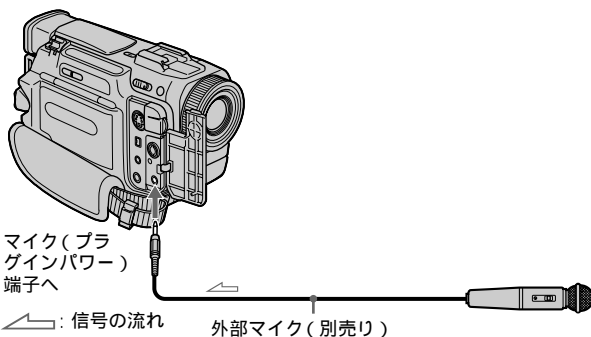
録画済みテープの指定した部分に音声を追加できます。撮影時の音声は消えません。

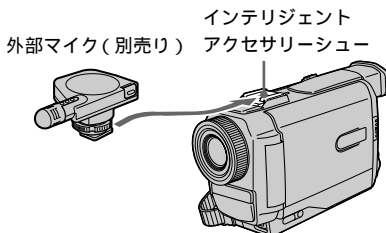
リモコンでのみ操作できます。

次の4つの方法のいずれかで、音声を録音してください。

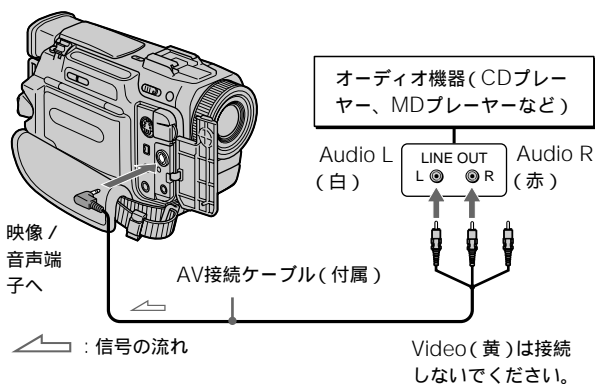
すべての接続をすると
追加する音声は、以下の順番で優先されて録音されます。
- マイク（プラグインパワー）端子
- インテリジェントアクセサリーシュー
- 映像／音声端子
- 内蔵マイク

i.LINKケーブル（DVケーブル）が接続されていると
アフレコできません。

別売りの外部マイクでマイク端子からアフレコする場合

映像／音声端子にテレビなどをつないで画像と音声を確認することができます。アフレコする音声はスピーカーから出力されません。テレビかヘッドホンで確認してください。

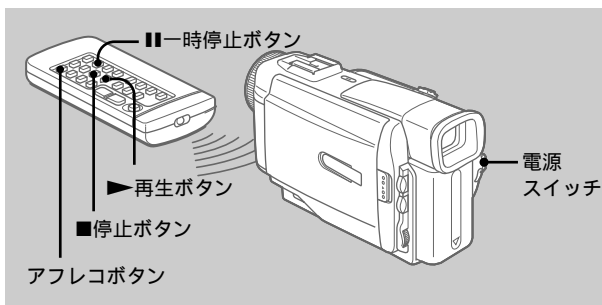
別売りの外部マイクをインテリジェントアクセサリーシューに接続してアフレコする場合

ご注意

映像／音声端子または内蔵マイクでアフレコするときは、S1映像端子、映像／音声端子から映像は出力されません。画像は液晶画面またはファインダーで確認してください。アフレコする音声はスピーカーかヘッドホンで確認してください。

映像／音声端子でアフレコする場合

内蔵マイクでアフレコする場合

接続は不要です。

アフレコする

上記のいずれかの接続をして、次の操作をします。

❶ 本機に録画済みカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

編集する

次のページへつづく

ご注意

- 16BITモードで記録されたテープには、アフレコできません（66ページ）。
- 映像／音声端子またはマイク端子に何も接続していないときは、内蔵マイクからアフレコされます。
- LPモードで記録されたテープには、アフレコできません。
- i DV端子からはアフレコできません。

より正確にアフレコするには
再生中にアフレコを終了したいところで、あらかじめリモコンのゼロセットメモリーボタンを押しておきます。そのあと手順3からアフレコをはじめると、アフレコの終了点で自動的に録音が止まります。

本機で録画されたテープに
アフレコすることをおすすめします。
他のビデオ（DCR-TRV8Kを含む）で録画したテープでアフレコすると音質が劣化することがあります。

アフレコ中にi.LINKケーブル（DVケーブル）を抜いたりつないだりすると
アフレコが止まることがあります。

❸ アフレコの開始点を決める。

►再生ボタンを押して再生し、アフレコを始めたいところでII一時停止ボタンを押す。

❹ リモコンのアフレコボタンを押す。

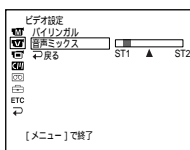
❺ リモコンのII一時停止ボタンを押すと同時に、オーディオ機器またはマイクで追加する音声を出す。

画像を再生しながら、ステレオ2に追加する音声を記録します。

❻ アフレコを終了したいところでリモコンの■停止ボタンを押す。

アフレコした音声を聞く

アフレコしたテープを再生する。

メニューの音声ミックスで撮影時の音声（ステレオ1）とアフレコした音声（ステレオ2）の音のバランスを調整します。（62ページ）

お買い上げ時はステレオ1のみの音声が出るように設定されています。メニューでバランスを調整しても、電源をはずして5分たつとバランスはステレオ1のみの音が出る設定に戻ります。

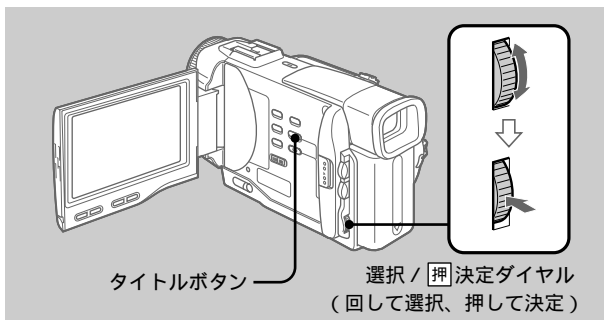
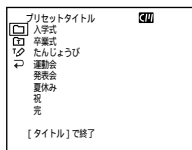
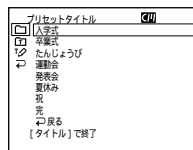
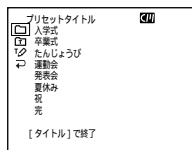
タイトルを入れる

CMのみ カセットメモリー付きカセットを使えば撮影中、または撮影後にタイトルを入れられます（インデックスタイトラー機能）。再生したときにタイトルを入れた場面から約5秒間タイトルが出ます。

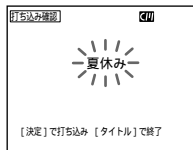
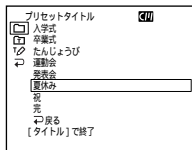
あらかじめ記憶している8種類のタイトルと、自分で作ったオリジナルタイトル2種類（58ページ）の中から内容にあったものを選べます。また、タイトルの色やサイズ、表示位置も選べます。

誤消去防止状態のカセットでは
タイトルを入れられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

オリジナルタイトルを入れるときは
手順2で「🗀」を選びます。オリジナルタイトルが作成されていないと、タイトル表示欄に「–––…」と表示されます。

テープの無記録部分には
タイトルを入れられません。

❶ タイトルボタンを押す。

❷ 選択／押決定ダイヤルを回して、「🗀」を選び、押して決定する。

❸ 選択／押決定ダイヤルを回して、入れたいタイトルを選び押して決定する。

タイトルが点滅する。

次のページへつづく

設定表示と表示順

- 「色設定」
  しろ←→きいろ←→むらさき←→あか←→みずいろ←→みどり←→あお
- 「サイズ設定」
  ちいさい←→おおきい
  12文字をこえるタイトルには「おおきい」サイズの設定はできません。12文字をこえるとサイズの決定後、「ちいさい」サイズに戻ります。
- 「位置設定」
  1←→2←→3←→4←→5←→6←→7←→8←→9
  大きい数字になるほど位置が下になります。
  サイズ設定で「おおきい」を選んだときは、9の位置は選べません。

1つのカセットに記憶できるタイトルは

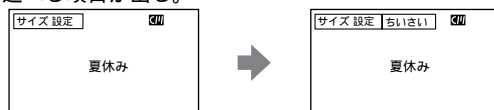
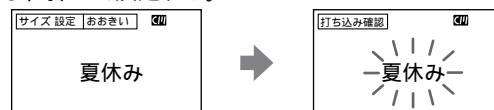
平均5文字で20タイトルです。ただし、カセットメモリーに日付データ／フォトデータ／カセットラベルデータが容量いっぱいに入っているときは、平均5文字で11タイトルです。１つのカセットのカセットメモリーに入る各データの容量は次の通りです。

- 日付データ　　6つ
- フォトデータ　12枚
- カセットラベル1つ

❹ 色、サイズ、位置を選択する。

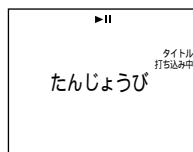
表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順5にすすむ。

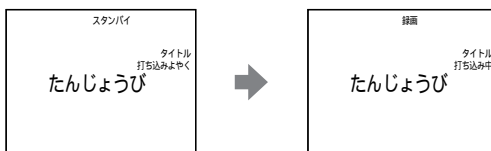
1 選択／押 決定ダイヤルを回して「色設定」または「サイズ設定」、「位置設定」を選び、押して決定する。

選べる項目が出る。

2 選択／押 決定ダイヤルを回して希望の項目を選び、押して決定する。

3 必要なだけ1、2を繰り返す。

❺ タイトルを確認し、選択／押 決定ダイヤルを押す。

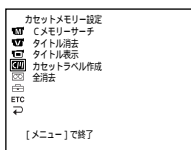
[再生中]、[再生一時停止中]、[撮影中] のとき

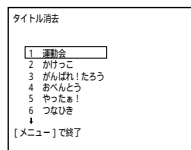
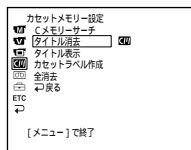
[打ち込み中] の表示が出る。約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

[撮影スタンバイ中] のとき

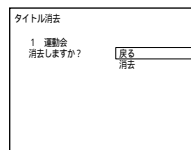
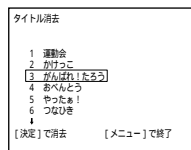
[打ち込みよやく] の表示が出る。スタート／ストップボタンを押して撮影を始めると同時に [打ち込み中] の表示になり、約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

タイトルを消す

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

❸ 選択／押 決定ダイヤルを回してアイコン「CM」を選び、押して決定する。

❹ 選択／押 決定ダイヤルを回して「タイトル消去」を選び、押して決定する。

タイトル消去画面が出る。

❺ 選択／押 決定ダイヤルを回して消したいタイトルを選び、押して決定する。

「消去しますか？」の表示が出る。

❻ 消去するタイトルを確認し、選択／押 決定ダイヤルを回して「消去」を選び、押して決定する。

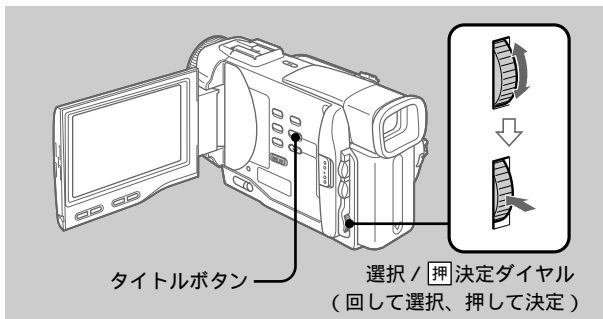
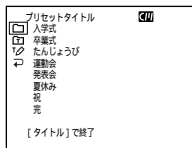
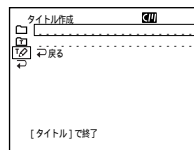
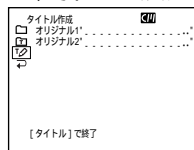
メニュー画面を消す

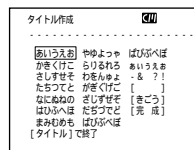
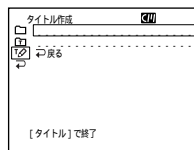
メニューボタンを押す。

オリジナルタイトルを作る

20文字以内のタイトルを自分で作って2種類までカセットメモリーに記憶できます。

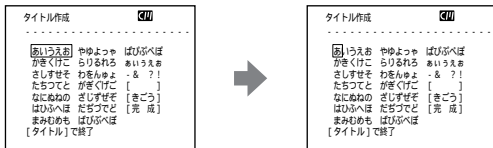
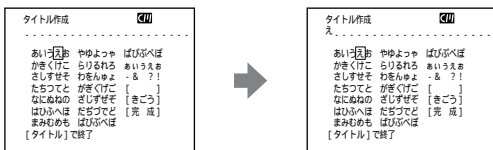
撮影スタンバイ状態で、カセットを入れてタイトルを作成中に5分以上たつと自動的に電源が切れます
それまで作成したタイトルは残っています。一度電源スイッチを「切」にしてから、もう1度はじめからやり直してください。
5分以上かかりそうなときは「ビデオ」にしておくかカセットを取り出しておけば電源は切れません。

漢字変換機能はありません

❶ ［撮影スタンバイ中］または［ビデオ］のとき**タイトルボタンを押す。**

❷ **選択／押決定ダイヤルを回して、「T✎」を選び、押して決定する。**

❸ **選択／押決定ダイヤルを回して、1行目または2行目の「– – – ... 」を選び、押して決定する。**

1行目はオリジナル1。2行目はオリジナル2。

[きごう] を選ぶと
アルファベットや数字などが選べる画面が出ます。[かな] を選ぶと、元の画面に戻ります。

文字を消すとき
[←] を選びます。一番後ろの文字が消えます。

空白を入れたいとき
[ー＆　？！] の文字列の空白部分を選んでください。

❹ 選択／押 決定ダイヤルを回して、希望の文字列を選び、押して決定する。

❺ 選択／押 決定ダイヤルを回して、希望の文字を選び、押して決定する。

❻ 手順4、5を繰り返して希望のタイトルを作る。

❼ 選択／押 決定ダイヤルを回して、[完成] を選び、押して決定する。

タイトルが記憶される。

❽ タイトルボタンを押して、タイトル画面を消す。

作成したタイトルを変更する

手順3で、変更したいオリジナルタイトルを選び、ダイヤルを押す。[←] を選び、ダイヤルを押して文字を消し、文字を選び直す。

カセットになまえを付ける – カセットラベル

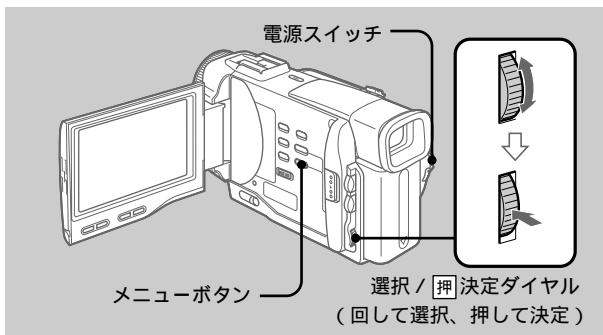
カセットメモリー付きカセットには、10文字までのなまえを付けることができます。

なまえを付けたカセットを入れ、電源を入れると、付けたなまえが自動的にファインダーや液晶画面、テレビ画面に約5秒間表示されます。

誤消去防止状態のカセットでは
カセットになまえをつけられません。
誤消去防止ツマミを元に戻してください。

タイトルがたくさん打ち込まれている、または他のデータが記録されているテープには
メモリー不足でカセットになまえをつけられないことがあります。この場合は、不要なデータを消去してください。

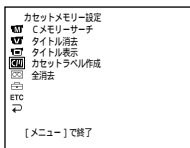
タイトルが入れてあると
カセットのなまえが表示されるときに、カセットに記憶されているタイトルが4つまで画面に出ます。

文字を入れるスペースが10文字分よりも少ないとき
カセットメモリー容量がいっぱいになっています。スペースが表示されている分だけ文字を入れることができます。

❶ **なまえを付けたいカセットを入れる。**

❷ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❸ **メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

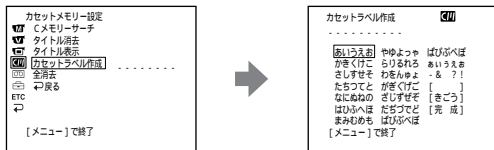
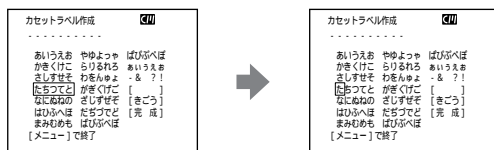
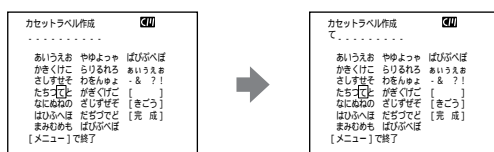
❹ **選択／押決定ダイヤルを回して、アイコン「CM」を選び、押して決定する。**

カセットメモリー設定
Cメモリーサーチ
タイトル消去
タイトル表示
カセットラベル作成
全消去
ETC
[メニュー] で終了

[きごう]を選ぶと
アルファベットと記号が選べます。[かな]を選ぶと、元の画面に戻ります。

文字を消すとき
[←] を選びます。一番後ろの文字が消えます。

空白を入れたいとき
[ー＆　？！] の文字列の空白部分を選んでください。

❺ 選択／押 決定ダイヤルを回して「カセットラベル作成」を選び、押して決定する。

カセットラベル作成画面が出る。

❻ 選択／押 決定ダイヤルを回して希望の文字列を選び、押して決定する。

❼ 選択／押 決定ダイヤルを回して希望の文字を選び、押して決定する。

❽ 手順6、7を繰り返して希望のカセットラベルを作る。

❾ 設定／押 決定ダイヤルを回して「完成」を選び、押して決定する。

カセットラベルが記憶される。

作成したカセットラベルを消す

上の手順6で [←] を選んで消す。

作成したカセットラベルを変更する

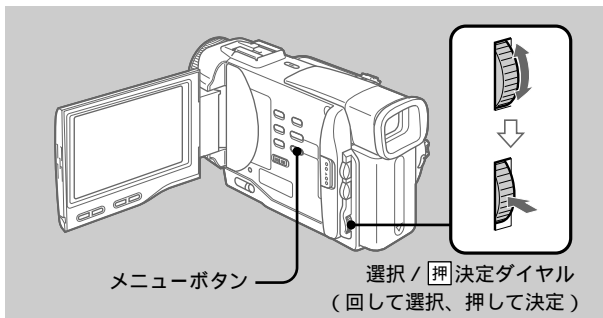
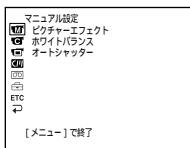
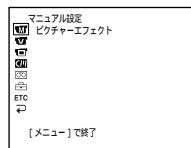
カセットラベルを変更したいカセットを入れ、カセットラベルを作るときと同じ手順で作り直す。

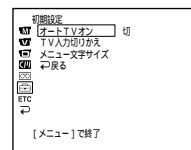
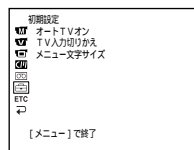
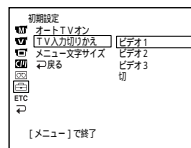
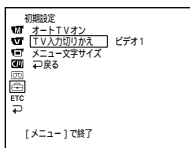
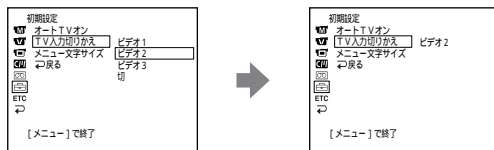
メニューで設定を変える

画面上のメニュー項目を、選択／押決定ダイヤルで選択し、本機の工場出荷時の設定を一部変更することができます。次の順で選択します。

メニュー画面→アイコン→項目→設定内容

メニュー項目は
以下のアイコン（絵文字）で区別されています。

- マニュアル設定
- カメラ設定
- ビデオ設定
- パネル／ファインダー設定
- カセットメモリー設定
- テープ設定
- 初期設定
- ETC その他

1 ［撮影スタンバイ中］または［ビデオ］のとき
メニューボタンを押す。

撮影スタンバイ中のとき（「カメラ」のとき）

「ビデオ」のとき

2 **選択／押決定ダイヤルを回して希望のアイコンを選び、押して決定する。**

3 **選択／押決定ダイヤルを回して希望の項目を選び、押して決定する。**

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して設定を切り換え、押して決定する。

❺ 必要なだけ手順2〜4を繰り返す。

手順2に戻るには、選択／押決定ダイヤルを回して「戻る」を選び、ダイヤルを押す。

詳しくは「各設定項目の説明」（64ページ）をご覧ください。

メニュー画面を消す

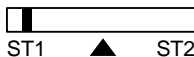
メニューボタンを押す。

お買い上げ時の設定を変える

次のページへつづく

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

電源スイッチの位置によって、操作できる項目に違いがあります。本機の画面には、その時使える項目のみ表示されます。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
[M] **ピクチャーエフェクト**	―	画像にテレビや映画のような特殊効果を加える。（28ページ）	「ビデオ」「カメラ」
ホワイトバランス	―	ホワイトバランスを調整する。（31ページ）	「カメラ」
オートシャッター	●入	明るいとき、自動的に電子シャッターが働く。	「カメラ」
	切	明るいときでも、電子シャッターが働かない。	
[C] **デジタルズーム**	入	ズームが10倍を超えると120倍までデジタルズームが働く。（13ページ）	「カメラ」
	●切	デジタルズームを使用しない（ズームは10倍まで働く）。	
ワイドTV	●切	ワイド録画モードにしない。	「カメラ」
	入	ワイド録画モードにする。（25ページ）	
手ぶれ補正	●入	手ぶれ補正が働く。	「カメラ」
	切	手ぶれ補正が働かない。三脚を使用するときに自然な画像になる。	
N.S.**ライト**	●入	NIGHTSHOTライトを使用する。（16ページ）	「カメラ」
	切	NIGHTSHOTライトを使用しない。	
[V] **バイリンガル**	●切	ステレオ音声または主＋副音声で再生する。（72ページ）	「ビデオ」
	メイン	左音声または主音声で再生する。	
	サブ	右音声または副音声で再生する。	
音声ミックス	―	音声モードST1↔ST2間のバランスを調節する。（54ページ） ST1 ▲ ST2	「ビデオ」

手ぶれ補正は

- 手ぶれ補正が「入」になっていても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- コンバージョンレンズ（別売り）を取り付けると、手ぶれ補正が効きにくくなります。

手ぶれ補正を解除すると

ハンディカムを左右に動かしたときにその動きを補正しようとするなど、不必要な補正を防ぎます。このとき画面に手ぶれ補正「切」表示 が出ます。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
パネルバックライト	●明るさノーマル	液晶画面の明るさを標準にする。	「ビデオ」「カメラ」
	明るい	液晶画面を明るくする。	
パネル色のこさ	—	液晶画面の色のこさを選択／押決定ダイヤルを回し、バーで調節する。 うすくなる ←→ こくなる	「ビデオ」「カメラ」
ファインダー明るさ	—	ファインダーの明るさを選択／押決定ダイヤルを回し、バーで調節する。 暗くなる ←→ 明るくなる	「ビデオ」「カメラ」
Cメモリーサーチ	●入	サーチ時にカセットメモリーを使用する。（39ページ）	「ビデオ」
	切	サーチ時にカセットメモリーを使用しない。	
タイトル消去	—	タイトルを消去する。（57ページ）	「ビデオ」「カメラ」
タイトル表示	●入	タイトルを入れてあるところでタイトルを出す。	「ビデオ」
	切	タイトルを出さない。	
カセットラベル作成	—	カセットになまえを付ける。（60ページ）	「ビデオ」「カメラ」
全消去	—	カセットメモリーのデータをすべて消去する。	「ビデオ」「カメラ」

「パネルバックライト」の「明るい」を選ぶと

- 撮影時のバッテリー使用時間が約１割短くなります。
- バッテリー以外の電源で使うときは自動的に「明るい」になります。

次のページへつづく

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
録画モード	●SP	SP（標準）モードで録画する。	「ビデオ」「カメラ」
	LP	SPモードの1.5倍の録画時間で録画する。長時間録画できる。	
音声モード	●12BIT	12ビットモード（2つのステレオ音声）の記録ができる。	「ビデオ」「カメラ」
	16BIT	16ビットモード（高音質で1つのステレオ音声）の記録ができる。	
テープ残量表示	●オート	以下のときにテープ残量を表示する。• 電源／テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。• ▷再生ボタンまたは画面表示ボタンを押してから8秒間。• 早送り、巻き戻し、ピクチャーサーチ中。	「ビデオ」「カメラ」
	入	テープ残量を常に表示する。	
データコード	●日付／カメラデータ	データコードボタンを押したとき、日付・時刻またはカメラデータを表示する。	「ビデオ」
	日付データ	日付・時刻を表示する。	

LP**モードについて**
- LPモードでは本機で記録したテープを本機で再生することをおすすめします。他機で記録したテープを本機で再生すると、モザイク状のノイズが現れることがあります。
- LPモードで記録するときは、本機の性能を最大限に生かすためにソニー製のMaster（マスター）DVテープをおすすめします。
- アフレコしたいときはSPモードで録画してください。LPモードで録画したテープにはアフレコできません。
- テープの途中で、SP/LPモードを切り換えると、再生画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

音声モードを「16BIT**」にすると**
アフレコできません。

音声モードが16**ビットで記録されたテープでは**
音声ミックスのバランス調節をすることができません。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
日時あわせ	—	日付・時刻を合わせ直す。（69ページ）	「カメラ」
オートTVオン	●切	ー	「ビデオ」「カメラ」
	入	LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製テレビの電源を入れる。（22ページ）	
TV入力切りかえ	●ビデオ1 ビデオ2 ビデオ3	LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製テレビの入力を切り換える。（22ページ）	「ビデオ」「カメラ」
	切	ー	
メニュー文字サイズ	●ノーマル	通常の大きさでメニュー表示をする。	「ビデオ」「カメラ」
	2×	選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。	
デモモード	●入	本機の機能を一覧できる。	「カメラ」
	切	デモンストレーションを表示しない。	

デモモードについて
- カセットが入った状態では操作できません。
- お買い上げ時は「スタンバイ」という設定になっています。これは10分後にデモンストレーションが始まる設定です。カセットを入れるか、電源スイッチを「カメラ」以外にするか、メニューで「切」にすれば解除されます。再び「スタンバイ」にするにはメニューで「入」にしたまま電源スイッチをいったん「切」にし、「カメラ」に戻します。
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしていると、『“ NIGHTSHOT ”』が表示され、デモンストレーションは始まりません。また、メニューでも「デモモード」が選べません。

メニューで設定を変える（つづき）

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
ETC 時差補正	—	時差の設定をする。 選択／押決定ダイヤルを回して時差を設定すると、時刻も時差に合わせて変わる。時差を0に設定すると、補正前の時間に戻る。	「カメラ」
おしらせブザー	●メロディー	撮影スタート／ストップ時や、誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。	「ビデオ」 「カメラ」
	ノーマル	メロディーのかわりにブザーが鳴る。	
	切	メロディー、ブザー音が鳴らない。	
リモコン	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く。	「ビデオ」 「カメラ」
	切	リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。	
画面表示	●パネル	カウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。	「ビデオ」 「カメラ」
	ビデオ出力／パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。	
録画ランプ	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。	「カメラ」
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。被写体に撮影していることを意識させずに撮影できる。	

ご注意

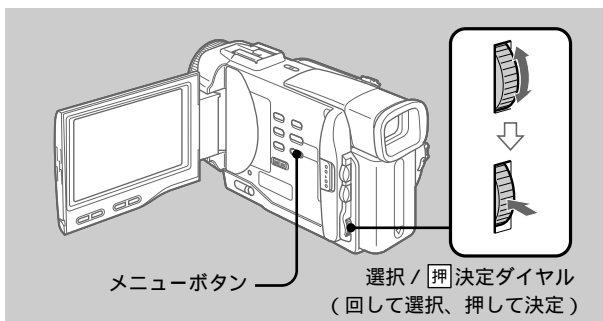
「画面表示」が「ビデオ出力／パネル」のとき画面表示ボタンを押すと、外部入力ができなくなります。

電源をはずして5分以上たつと
「音声ミックス」、「リモコン」、「バイリンガル」、「ホワイトバランス」はお買い上げ時の設定に戻ります。
その他のメニュー項目は電源をはずしても設定を保持します。

日付・時刻を合わせ直す

お買い上げ時にあらかじめ日付・時刻は設定されていますが、半年近く使わなかったときなどに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください。（84ページ）

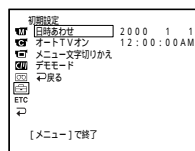
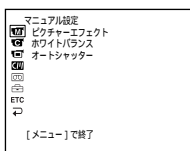
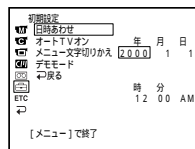
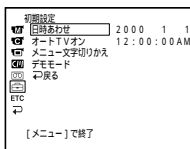
しばらく使わずにいて時計が合っていないとき

日時を設定しないと
テープには「– –. – –. – –」が記録されます。

年→月→日→時→分の順で合わせます。

❶ ［撮影スタンバイ中］に
メニューボタンを押す。

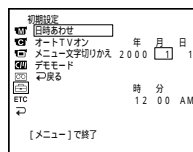
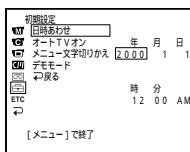
❷ **選択／押 決定ダイヤルを回して「🧰」を選び、押して決定する。**

❸ **選択／押 決定ダイヤルを回して「日時あわせ」を選び、押して決定する。**

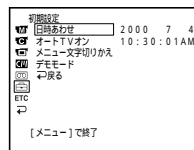
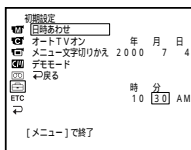
次のページへつづく

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

❹ **「年」を合わせる。**

選択／押決定ダイヤルを回して「年」を合わせ、押して決定する。

年表示は次のように変わる。

❺ **手順4と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。**

❻ **「分」と「秒」を合わせる。**

選択／押決定ダイヤルを回して「分」を合わせて時報と同時に押して決定する。時計が動き始める。

❼ **メニューボタンを押す。**

メニュー画面が消える。

使えるビデオカセット

使えるビデオカセット

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。本機には、ミニDVカセットのみ使えます。Mini DVマークのついたカセットをお使いください。*

8、Hi8、β方式や、VHS、VHS C、S VHS、S VHS C、β、ED Beta、DV方式のビデオカセットは使えません。

* ミニDVカセットには、カセットメモリー付きのものと、カセットメモリーなしのものがあります。本機ではカセットメモリー付きのものを推奨しています。
  カセットメモリー付きのカセットは、カセット自体にICメモリーを内蔵しています。本機はこのICメモリーを利用して、画像情報（録画日時、タイトルなど）を書き込んだり、呼び出したりします。
  カセットメモリー機能は、テープ上に記録された信号を基準にして動作します。テープの冒頭や途中に1度無記録部を作ると、信号が不連続になり、タイトルが間違って表示されたり、サーチが誤動作することがあります。無記録部を作らないために、下記の操作を行ってください。

  撮影の途中でテープを出し入れしたり、VTRモードで再生したり、またはエディットサーチを使った場合には、次の撮影の前にエンドサーチボタンを押し、撮影終了位置に戻す。

  無記録部があったり、テープ上の信号が不連続なものは、上記の点に注意して新たにテープの最初から最後まで撮影すれば、カセットメモリー機能を正しくお使いいただけます。
  カセットメモリー機能付きデジタルビデオカメラレコーダーで録画したテープの上に機能なしカメラレコーダーで録画したときも同じ症状が出ることがあります。
  カセットメモリー付きカセットにはCM（Cassette Memory）マークが付いています。CMマークの付いたミニDVカセットをお使いください。

著作権保護信号について

再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、本機で再生した信号の他機での記録が制限されることがあります。

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されているカセットは本機で録画することはできません。
このようなカセットを録画しようとすると液晶画面やファインダーに「ダビングプロテクトされています。録画できません。」の表示が現れます。

なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

カセットのCM 4K マークについて
この表示は、このカセットで4キロビットまでメモリーができることを示します。なお、本機は16キロビットのカセット（CM 16K マークが本体側面についています）まで対応しています。

これらは商標です。

Mini DV Digital Video Cassette
ミニDVカセットのマークです。

CM Cassette Memory
カセットメモリーのマークです。

次のページへつづく

音声多重記録テープを再生するとき

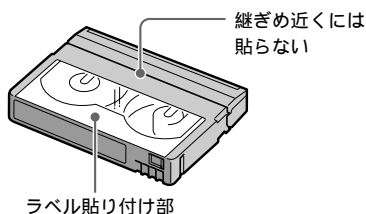
ステレオ音声で二重音声を記録したテープを再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。（62ページ）

メニューの「バイリンガル」の設定	再生される音声	
	ステレオを記録したテープ	二重音声を記録したテープ
「切」にする	ステレオ音声	主音声＋副音声
「メイン」にする	左音声	主音声
「サブ」にする	右音声	副音声

本機では二重音声は記録できません。

ミニDVカセットについてのご注意

ミニDVカセットにラベルを貼るときは

カセットにラベルを貼るときは、指定の位置に正しくお貼りください。故障の原因になります。

ミニDVカセットの使用後は

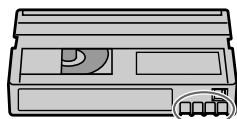
ご使用後は必ずテープを巻き戻してください。（画像や音声が乱れる原因となります）。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

カセットメモリー付ミニDVカセットを入れても、カセットメモリー機能が働かないときは

カセットを1〜2回入れなおしてください。
金メッキ端子にゴミ等が付着して機能が働かないことがあります。

金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、カセットメモリーを使う機能などが正しく働かないことがあります。

カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。

i.LINK（アイリンク）について

本機のDV端子はi.LINKに準拠したDV入力/出力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ご注意

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常１台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100（最大転送速度　約100Mbps*）
S200（最大転送速度　約200Mbps）
S400（最大転送速度　約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
本機のように特に転送速度の記載がされていない機器の最大転送速度は「S100」です。
最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のDV端子付きビデオとつないでダビングする方法については47ページをご覧ください。
また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK（DV）対応機器（パーソナルコンピュータVAIOシリーズなど）とも接続してご使用になれます。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を合わせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください
4ピン← →4ピン（DVダビング時）

i.LINK、i は商標です。

その他

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店にお問い合わせください。

ファインダーや液晶画面に「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。80ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート／ストップボタンを押してもテープが走行しない。	•電源スイッチが「カメラ」になっていない。 •テープが終わりになっている。 •カセットが誤消去防止状態になっている。 •テープがヘッドドラムに貼りついている (結露)。	•「カメラ」にする。 •巻き戻すか、新しいテープを入れる。 •そのテープで撮るなら赤いツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。 •カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	11 10、20 10 84
すぐに撮影が止まる。	スタート／ストップモードスイッチが「↓」または「5秒」になっている。	スタート／ストップボタンを押すごとに撮影を始める／止めるようにするときは、「↑」にする。	14
電源が途中で切れる。	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	1度電源スイッチを「切」にしてから、もう1度「カメラ」にする。	―
ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度調節する。	13
手ぶれ補正が働かない。	手ぶれ補正スイッチが「切」になっている。	メニューで「入」にする。	62
オートフォーカスが働かない。	•手動ピント合わせになっている。 •オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	•フォーカススイッチを「自動」にする。 •手動でピントを合わせて撮影する。	35 35
フェーダーボタンが働かない。	•スタート／ストップモードスイッチが「5秒」または「↓」になっている。 •デジタルエフェクト機能が働いている。	•「↑」にする。 •解除する。	14 29

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
液晶画面またはファインダー内に⊗が点滅している。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	84
ファインダーの画像が消えている。	液晶画面が開いている。	液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。	12
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。	ー	ー
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミア現象といい、故障ではありません。	ー	ー
画面に白点が出ることがある。	スローシャッターやキャンドルモード、NIGHTSHOT ＋スローシャッターモードのときに出る現象で、故障ではありません。	ー	ー
液晶画面やファインダーに見慣れぬ画面が現れる。	カセットを入れずに電源を「カメラ」にして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。	カセットを入れるとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできます。	67
画像の色が正しくない。	NIGHTSHOTが「入」になっている。	「切」にする。	15
画面が白すぎて画像が見えない。	明るいところでNIGHTSHOTを「入」にしている。	「切」にする。 または暗いところで撮影する。	15

故障かな？と思ったら（つづき）

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ビデオ操作ボタンが働かない。	•電源スイッチが「ビデオ」になっていない。 •テープが終わりになっている。	•「ビデオ」にする。 •テープを巻き戻す。	18 20
画像がぼけたり、映らなかったりする。	テレビのビデオ用チャンネルが正しく調整されていない。	調整し直す。	21
画像に9本の横線が入る。またはぼけたり映らなかったりする。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	84
音声が小さい。または聞こえない。	•音量を最小にしている。 •メニューの「音声ミックス」が「ST2」側になっている。	•音量を大きくする。 •「音量ミックス」を調整する。	19 53
撮影日を画面に出して日付サーチできない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 •メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。	•カセットメモリー付きカセットを使う。 •「入」にする。	39、71 62
タイトルサーチできない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 •メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。 •タイトルが入っていない。	•カセットメモリー付きカセットを使う。 •「入」にする。 •タイトルを入れる。	41、71 62 55
アフレコした音声が聞こえない。	メニューの「音声ミックス」が「ST1」側になっている。	「音声ミックス」を調節する。	54
タイトルが出ない。	メニューの「タイトル表示」が「切」になっている。	•「入」にする。	62

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチをビデオ／カメラにしても動作しない。	•バッテリーが消耗している／入っていない／消耗が近い。 •ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。	•充電されたバッテリーを取り付ける。 •コンセントに差し込む。	6、7 9
エンドサーチが働かない。	•カセットメモリーの付いていないカセットで、撮影後にカセットを取り出した。 •カセットを入れてからエンドサーチボタンを押すまでに、1度も撮影していない。	ー ー	17、20 17、20
エンドサーチが誤動作する。	テープの冒頭や途中に無記録部分がある。	ー	71
バッテリーの消耗が早い。	•温度が極端に低いところで撮っている。 •充電が不充分。 •バッテリーそのものの寿命。	ー •充分に充電する。 •新しいバッテリーに交換する。	ー 7 6
バッテリー残量の表示が正しくない。	•温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。 •バッテリーそのものの寿命。 •バッテリーが消耗している。	ー •新しいバッテリーに交換する。 •充電されたバッテリーを取り付ける。	ー 6 6、7
カセットが取り出せない。	•電源(バッテリーやACパワーアダプター)がはずれている。 •バッテリーが消耗している。	•電源をきちんと接続する。 •充電されたバッテリーを取り付ける。	6、9 6、7
結露マークや⏏が点滅し、カセット取出しスイッチ以外働かない。	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	84
カセットメモリー付きのカセットを使用しているのにカセットメモリー表示が出ない。	カセットの金メッキ端子が汚れている。または、ゴミが付着している。	金メッキ端子をクリーニングする。	72
テープ残量表示が出ない。	メニューの「テープ残量表示」が「オート」になっている。	常にテープ残量を出したいときは「テープ残量表示」を「入」にする。	62

その他

次のページへつづく

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
タイトルを入れられない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	•カセットメモリー付きカセットを使う。	55、71
	•カセットのメモリーがいっぱいになっている。	•ほかのタイトルを消去する。	57
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。	10
	•無記録部分にタイトルを入れようとしている。	•録画された部分にタイトルを入れる。	55
カセットになまえを付けられない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	•カセットメモリー付きカセットを使う。	60
	•カセットのメモリーがいっぱいになっている。	•タイトルをどれか消去する。	57
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。	10
ダビング編集中、i.LINKケーブル（DVケーブル）を正しく接続しているのにモニター画像が出ない。	—	i.LINKケーブル（DVケーブル）を一度ぬいてからもう1度接続し直してください。	47
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	•メニューの「リモコン」を「切」にしている。	•「入」にする。	62
	•リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	•障害物を取り除く。	ー
	•リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	•⊕極と⊖極を正しく入れる。	91
	•乾電池そのものの寿命。	•新しい乾電池に交換する。	91
外部入力しているのに液晶画面やTVに画像が映らない。	メニューの「画面表示」が「ビデオ出力／パネル」になっている。	「パネル」にする。	62
おしらせブザーが5秒間鳴りつづける。	•結露している。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	84
	•本機に異常が発生している。	•カセットを入れ直し、再度操作し直す。	ー

その他

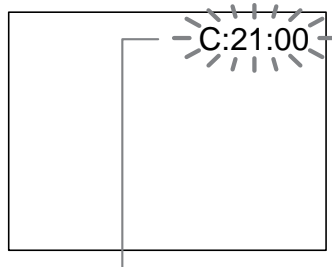
こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
バッテリー充電中、表示窓に何も表示が出ない。または表示が点滅する。	•ACパワーアダプターが外れている。 •バッテリーが故障している。	•電源をきちんと接続する。 •テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。	7 ー
電源が入っているのに操作できない	—	バッテリーまたはACパワーアダプターを取りはずし、約1分後再びバッテリーまたはACパワーアダプターを取り付け電源を入れる。それでも操作できないときは、スピーカー左のリセットボタンを先のとがったもので押す。(この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。)	9、88

自己診断表示 – アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、ファインダー（または液晶画面）にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

ファインダー（または液晶画面）

自己診断表示
「C:□□:□□」：
お客様自身で正常に戻せる状態
「E:□□:□□」：
テクニカルインフォメーションセンターに相談していただく状態

表示	原因	対応の仕方	参照ページ
C:04:□□	インフォリチウム以外のバッテリーを使用している。	“ インフォリチウム ”バッテリーをご使用ください。	ー
C:21:□□	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	84
C:22:□□	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	84
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	• カセットを入れ直し、再度操作し直す。 • 電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。	ー ー
E:61:□□ E:62:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10	ー

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面とファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、（　）内のページにあります。

• 対面撮影中はお知らせメッセージは出ません。
• 表示は実際には黄色です。

警告表示

ヘッド汚れの警告
遅い点滅
• ヘッドが汚れている。クリーニングカセットで掃除する必要がある（84）

バッテリー消費時の警告
遅い点滅
• バッテリー残量が少ない
速い点滅
• バッテリー残量がない（7）
状況によってはバッテリー残量が5分から10分ほどでも警告表示が点滅することがあります。

結露の警告
速い点滅
• テープが結露している。
テープを取り出し、電源をはずしてカセット入れを開けたまま約1時間放置する（84）

自己診断（80）

カセットメモリー関連の警告
遅い点滅
• カセットメモリー付きカセットが入っていない*（71）

テープ関連の警告
遅い点滅
• テープ残量が5分を切った
• テープが入っていない*（10）
• テープが誤消去防止状態になっている*（10）
速い点滅
• テープが終わっている*（10、20）

テープを取り出す必要がある警告
遅い点滅
• テープが誤消去防止状態になっている*（10）
速い点滅
• 結露している（84）
• テープが終わっている*（10､20）
• 自己診断表示が出ている*（80）

警告表示とお知らせメッセージ（つづき）

お知らせメッセージ

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが出ます。
メッセージにしたがって操作してください。

- バッテリーを取りかえてください（6）
- このバッテリーは古くなりました　取りかえてください（6）
- " インフォリチウム "バッテリーをつかってください（8）
- テープが終わっています*（10、20）
- カセットを入れてください*（10）
- カセットの誤消去防止ツマミを確認してください*（10）
- メニューで日付・時刻をあわせてください（69）
- ヘッドが汚れています／クリーニングカセットをつかってください（84）
- 結露しています　カセットを取りだしてください*（84）
  （テープが入っていないとき、メッセージは「結露しています」になります。）
- ダビングプロテクトされています　録画できません（71）*
- 音声モードがちがいます　確認してください（66）*
- 録画モードがちがいます　確認してください（66）*
- テープを確認してください（10）*
- " i. LINK "ケーブルをぬいてください（47）*
- カセットメモリー付きカセットを入れなおしてください（71）
- カセットメモリーがいっぱいです*

* 警告表示／お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

海外で使う

本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-L10は、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

トラベルコンバーターはご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

時差補正機能について

海外でお使いになるときはメニューで「ETC時差補正」を選べば、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせることができます。詳しくは62ページをご覧ください。

お手入れ

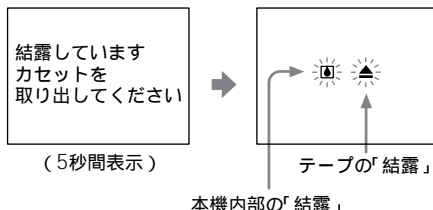
結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、ファインダーや液晶画面に下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

結露しています
カセットを
取り出してください

（5秒間表示）

テープの「結露」

本機内部の「結露」

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取り出しスイッチ以外は働きません。
電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。
次のような症状になったときは､別売りの乾式クリーニングカセットDVM-12CLDを10秒間使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 再生画面に四角いノイズが出る。
- 再生画面の一部が動かない。
- 再生画像が出ない。
- ファインダー内または液晶画面に「⊗ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。

正常画

ビデオヘッドが汚れているときの画像

や

このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し半年近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合は日時は記録されないままで本機を使うことはできます。

充電方法

本機を付属のACパワーアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切」にして24時間以上放置する。

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録音方式	回転2ヘッド 12ビット32kHz（ステレオ1、ステレオ2） 16ビット48kHz（ステレオ）
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	Mini DVマークのついたミニDVカセット
テープ速度	SP：約18.81mm/秒 LP：約12.56mm/秒
録画／再生時間	SP：60分（DVM60使用時） LP：90分（DVM60使用時）
早送り、巻き戻し時間	1分45秒（ACパワーアダプター、DVM60使用時） 2分30秒（バッテリー、DVM60使用時）
ファインダー	電子ファインダー：カラー
撮像素子	1/4型CCD固体撮像素子 約68万画素（有効画素数：約34万画素）
ズームレンズ	カールツァイス 10倍（光学）、120倍（デジタル） f=3.3～33mm　（35mmカメラ換算では42～420mm） F1.7～2.2 フィルター径30mm
色温度切り換え	自動追尾／HOLDホールド、 ☼屋内（3200K）、☀屋外（5800K）
最低被写体照度	11ルクス（F1.7） 0ルクス（NIGHTSHOT時）

入・出力端子

S1映像端子	入力／出力自動切り換え Y出力　1Vp-p 75Ω不平衡 C出力　0.286Vp-p 75Ω不平衡
映像／音声端子	入力／出力自動切り換え 特殊ステレオミニジャック（1） 映像：1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負 音声：327mV（47 kΩ負荷時）、出力インピーダンス2.2 kΩ 入力インピーダンス47 kΩ以上
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック（Ø3.5）
LANC端子	ステレオミニミニジャック（Ø2.5）
マイク入力端子	ステレオミニジャック（Ø3.5）
i DV端子	i.LINK（IEEE1394．4ピン特殊コネクター）

液晶画面

画面サイズ	3.5型
総ドット数	105,380ドット 横479×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC端子入力8.4V
消費電力（バッテリー使用時）	2.9W （ファインダー使用時） 3.6W （液晶画面使用時、明るさ標準）
動作温度	0℃～+40℃
保存温度	–20℃～+60℃
外形寸法（最大突起部を除く）	67.5× 89 × 157.5 mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約 630g（本体のみ）
撮影時総質量*	約 730g * バッテリーNP-FM50、テープ（DVM60）、レンズキャップ含む。
付属品	ACパワーアダプターAC-L10（1） バッテリーパックNP-FM50（1） レンズキャップ（1） ワイヤレスリモコン（1） 単3形乾電池（リモコン用）（2） AV接続ケーブル（1） 取扱説明書（1） 安全のために（1） カスタマーご登録はがき（1） ハンディカムカスタマーご登録のお勧め（1） カスタマーご登録CD-ROM（1） 保証書（1）

ACパワーアダプターAC-L10

電源	AC100~240V、50/60Hz
定格出力	DC8.4V、1.5 A
動作温度	0℃～+40℃
保存温度	–20℃～+60℃
外形寸法 （最大突起部をのぞく）	約125 × 39 × 62 mm （幅×高さ×奥行き）
質量	約 280g（本体のみ）

バッテリーパックNP-FM50

電圧	7.2V
容量	8.5Wh（1180mAh）
種類	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
”故障かな？と思ったら ”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは
テクニカルインフォメーションセンター（本書の裏面参照）にご相談ください。

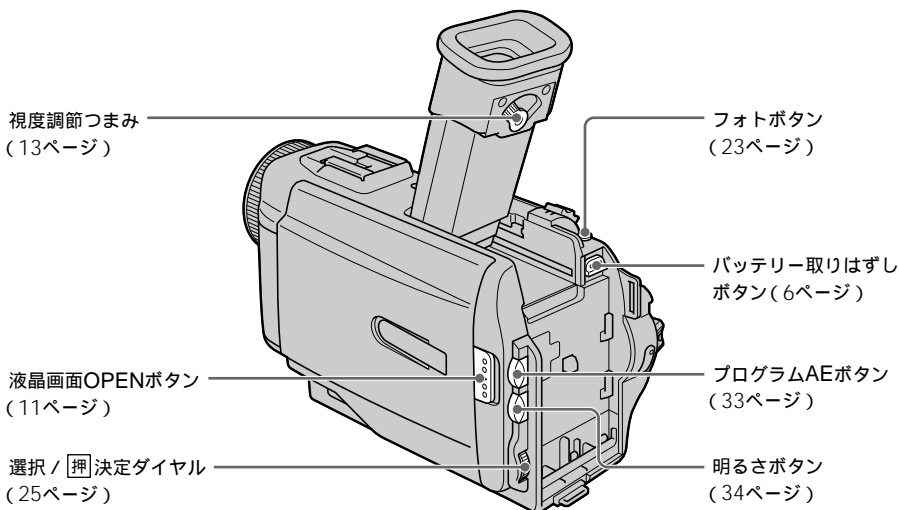
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

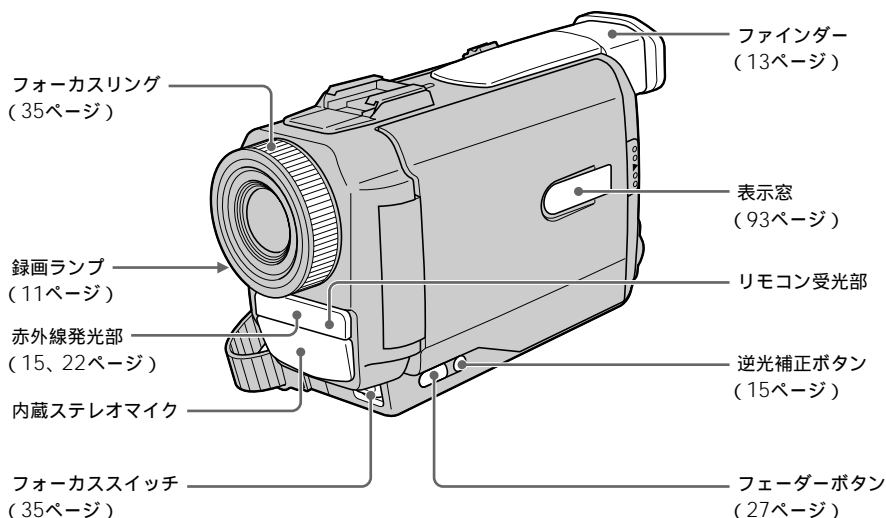
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

各部のなまえ

使いかたの説明は、(　)内のページにあります。

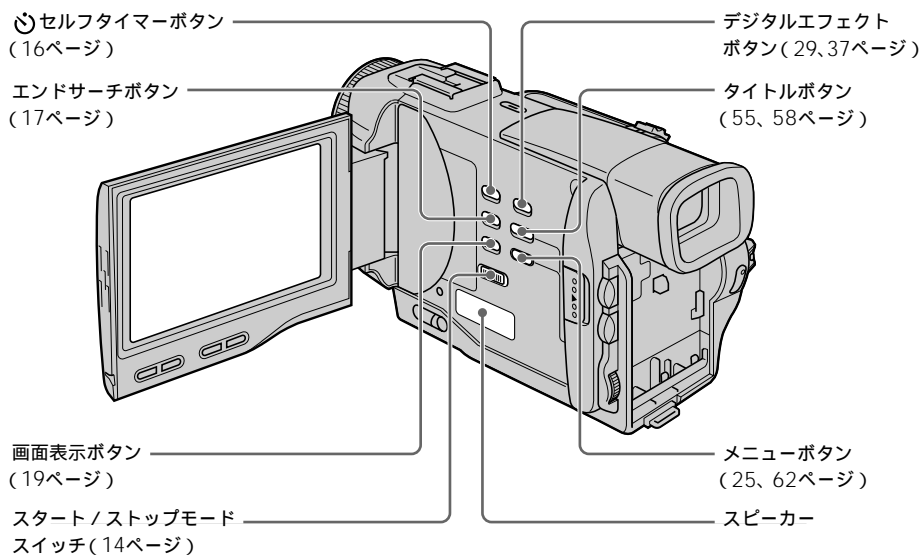
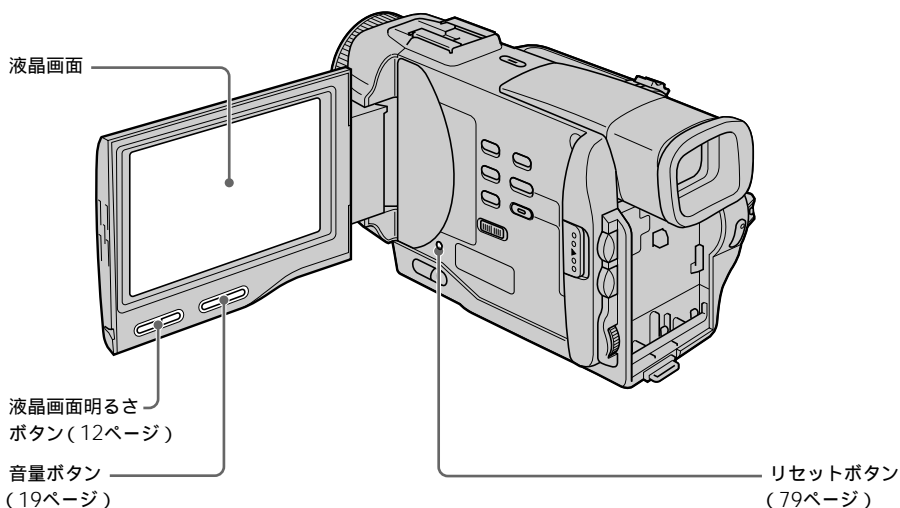
本体

この純正マークは、ソニー(株)のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。

ソニー(株)のビデオ機器をお求めの際は, 純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

LASER AVLINK(**レーザーエーブイリンク)とは**

マークのあるLASER AVLINK対応機器の間で赤外線による映像と音声の送受信をおこなうシステムです。

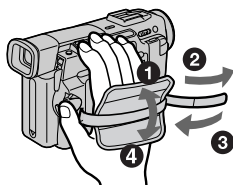
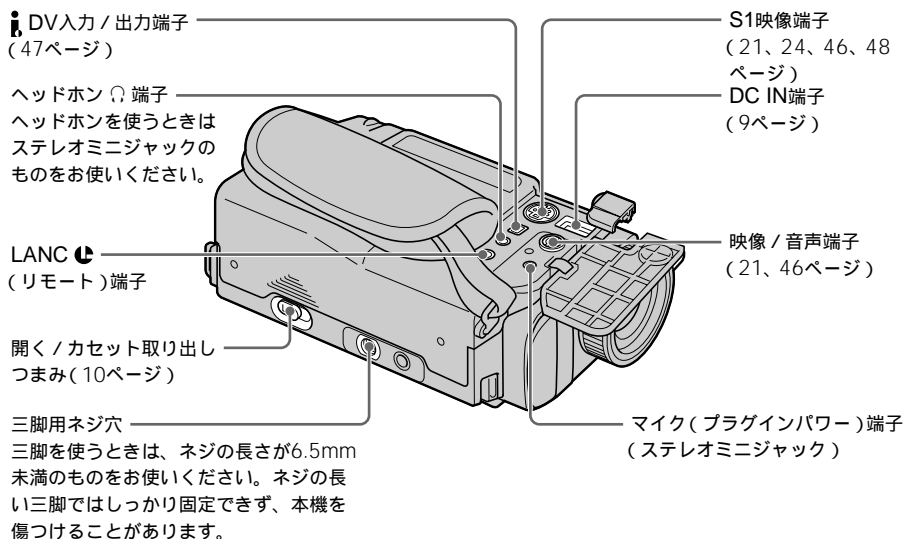
Intelligent Accessory Shoe

インテリジェントアクセサリーシューについて

- 別売りの専用マイクやビデオライトなどをお使いになると、本機から電源を供給できます。
- 本機の電源スイッチに連動して、アクセサリーの電源の入/切ができます。
  (お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。)
- 取り付けたアクセサリーがはずれて落ちたりしないように、はずれにくい構造になっています。アクセサリーを取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、取り付けネジを確実に締め付けてください。
- アクセサリーを取りはずすときは、取り付けネジをゆるめ、上から押しながらはずしてください。

次のページへつづく

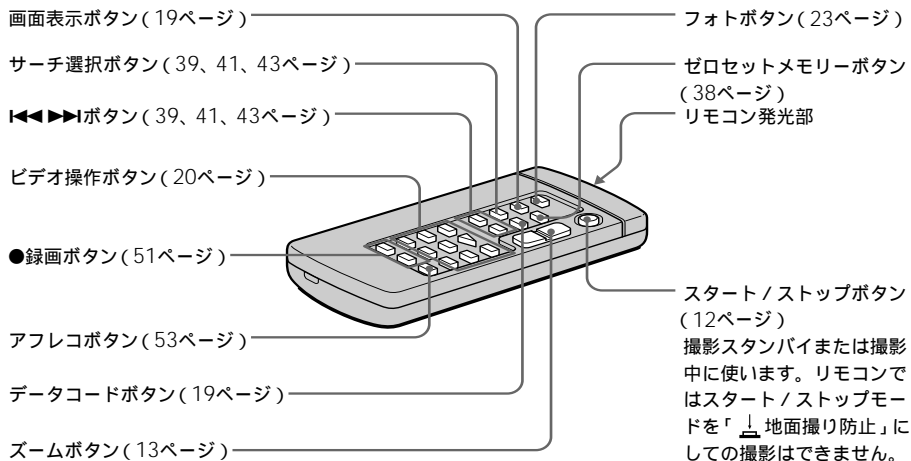
液晶画面
液晶画面明るさ
ボタン（12ページ）
音量ボタン
（19ページ）
リセットボタン
（79ページ）

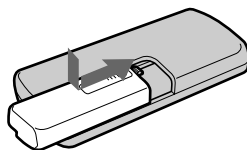
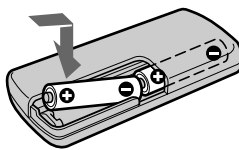
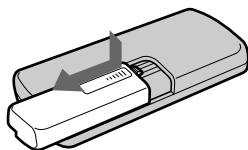
セルフタイマーボタン
（16ページ）
エンドサーチボタン
（17ページ）
デジタルエフェクト
ボタン（29､37ページ）
タイトルボタン
（55、58ページ）
画面表示ボタン
（19ページ）
スタート／ストップモード
スイッチ（14ページ）
メニューボタン
（25、62ページ）
スピーカー

グリップベルトのしめ方

グリップベルトはしっかりと
しめてください。

LANC（リモート）マークについて
は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

ヘッドホンを使うと
スピーカーから音は出ません。

別売りの外部マイクを使う場合
マイク(プラグインパワー)端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。

ワイヤレスリモコン

電池の入れかた

❶ **押しながらずらす。** ❷ **入れる。** ❸ **元に戻す。**

リモコンについて

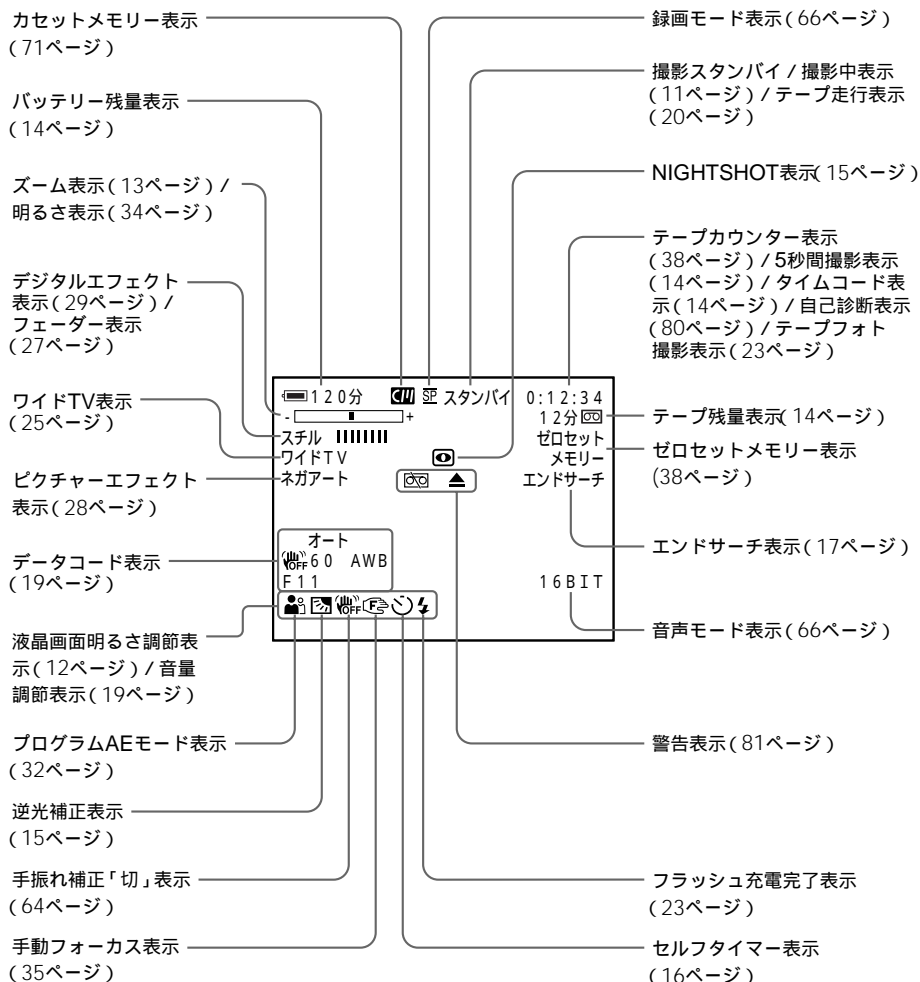
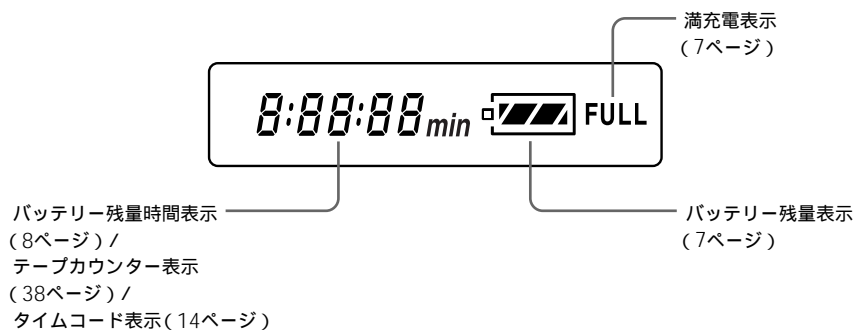
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

次のページへつづく

各部のなまえ（つづき）

ファインダーと液晶画面の表示

表示窓の表示

8:88:88min
FULL
満充電表示
（7ページ）
バッテリー残量時間表示
（8ページ）／
テープカウンター表示
（38ページ）／
タイムコード表示（14ページ）
バッテリー残量表示
（7ページ）

主な機能ガイド

明るさが気になるときの機能［撮影中］

あたりが真っ暗なとき	NIGHTSHOT	15ページ
ろうそく程度の明かりしかないとき	キャンドル	32ページ
花火大会や夕暮れ、夜景を撮るとき	サンセット＆ムーン	32ページ
逆光（被写体の背後に光源がある）のとき	逆光補正	15ページ
結婚式・舞台など、一部分が明るいとき	スポットライト	32ページ
スキー場、海岸などとても明るいとき	ビーチ＆スキー	32ページ

インパクトある画像を作るための機能［撮影中］

場面転換する	フェードイン・フェードアウト	26ページ
静止画を撮りたい	テープフォト撮影	23ページ
画像をデジタル処理したい	ピクチャーエフェクト／デジタルエフェクト	28、29ページ
被写体を引き立てたい	ソフトポートレート	32ページ
タイトルを入れたい	タイトル機能	55ページ

さりげなく自然な画像にするための機能［撮影中］

ズーム時の画質低下を押さえたい	メニュー：デジタルズーム	62ページ
意図的にピントを合わせたい	手動ピント合わせ	35ページ
遠くの被写体にピントを合わせたい	風景	32ページ
ゴルフスイングなどの速さをとらえたい	スポーツレッスン	32ページ

撮影後の編集・お手持ちの機器との接続のための機能［撮影中］

ワイドテレビで見る予定のとき	ワイドTVモード	25ページ

撮影し終わったテープで行う機能［再生中］

撮影した画像にデジタル処理したい	ピクチャーエフェクト／デジタルエフェクト	36、37ページ
撮影した日時を確認する	データコード	19ページ
見たい場面にすばやく戻す	ゼロセットメモリー	38ページ
タイトルの入った場面を探す	タイトルサーチ	41ページ
静止画の場面を探す	フォトサーチ	43ページ
静止画だけ次々見る	フォトスキャン	45ページ
モノラル音声、副音声で聞く	メニュー：バイリンガル	62ページ
コードレス再生したい	LASER AVLINK	22ページ

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

検索する

カスタマー登録のご案内

ソニーではハンディカムをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマー登録」をお勧めしています。詳しくは同梱の「ハンディカム カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

電話のおかけ間違いにご注意ください。

カスタマー登録に関する問い合わせ
ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク
電話： 03-3584-6651
受付時間：月～金曜日　午前10時～午後6時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■ デジタルイメージングカスタマーサポート

デジタルハンディカムとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。

http://www.sony.co.jp/support-di/

■ テクニカルインフォメーションセンター

本機をお使いになって不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談窓口です。

電話： 0564-62-4979
受付時間： **月～金曜日　午前9時～午後5時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

D-Imaging World（デジタルイメージングワールド）
ハンディカムやデジタルスチルカメラを楽しく使っていただくためのホームページです。
http://www.sony.co.jp/di-world/

Sony online　http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

ソニー株式会社
〒141-0001
東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ　●ナビダイヤル：0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）　●携帯電話・PHSでのご利用は：03-5448-3311
●Fax：0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

Printed in Japan